

高等学校 文部科学省検定済教科書

130

二宮

地B305

# 新編 詳解地理

改訂版

# B



## 2020年度用 内容解説資料

1

### 理解が深まる系統地理学習

→ よりわかりやすく因果関係を整理，最新動向を反映

2

### 地誌学習の充実

→ 全地域を網羅，各地域の特徴，課題を丁寧に解説

3

### 地理的技能の着実な習得

→ 18の技能コラムにより読図力・判定力を強化

二宮書店

【2020教 内容解説資料】

教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております

## 世界の状況の変化を写真に反映

このような  
写真を  
差し替え  
ました

### 2国を隔てる国境の壁

▼ p.285 アメリカ

アメリカ側 ←→ メキシコ側



↑ ③ アメリカとメキシコの国境の壁(ノガレス, 2017年撮影)

#### トランプ政権の「国境の壁」政策にゆれる国境の町

アメリカ・メキシコ国境に位置する双子都市のノガレスは、アメリカをめざすメキシコ移民の拠点となってきました。写真の鉄柵に加え、現在は監視タワーが設置されるなど、不法な越境者の監視が強化されています。

### インドのソフトウェア産業の発展

▼ p.223 インド



↑ ⑤ コールセンターで働く人々(バンガロール, 2017年撮影)

#### インドの ICT 市場を狙う外国企業

写真は、スマートフォンを発売する中国の家電メーカーのシャオミ (Xiaomi) がバンガロールに開設したコールセンターです。インドは英語が堪能で人件費が安いというだけでなく、所得向上により市場としての魅力も高まっています。外国の企業は現地工場やコールセンターを次々と立ち上げています。



### 単一通貨ユーロ紙幣の更新

▼ p.247 EU

ユーロ導入から 10 年を迎えた 2013 年から、偽造防止機能を強化したユーロ紙幣が発行されています。

## 地形図を更新



### 条里制の名残りと集落

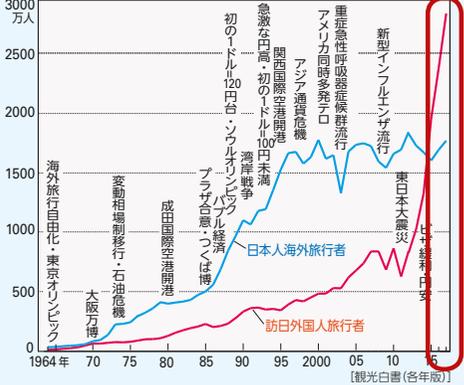
(奈良県大和郡山市, 2014年撮影)

国土地理院の更新に合わせ、地形図を新しい表現のものに差し替えました。工場の地図記号の廃止や、建物や高速道路・国道・県道の表現の変更、都市計画区域内の地図精度の向上が行われています。

▲ p.154 村落都市

変化の大きなものを中心に統計資料を更新 (計29図)

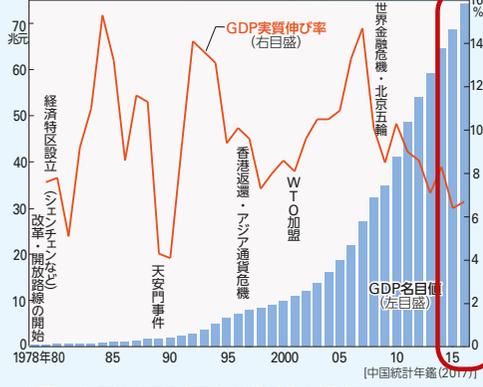
▼ p.139 日本の観光



↑ 日本人海外旅行者と訪日外国人旅行者の推移

グラフの更新とともに、教科書本文についても「外国人旅行者が急増し、2017年には2800万人を上回った」と更新しました。

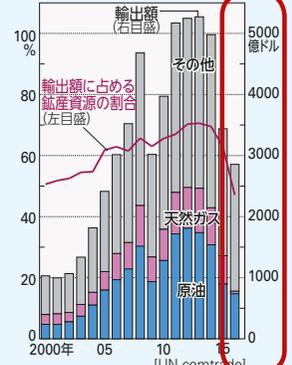
▼ p.187 中国



↑ 中国のGDP(国内総生産)の推移

本文「経済発展が著しい中国は、GDPでアメリカに次いで世界2位となり」に対し、GDP実質伸び率が下がってきている状況について更新しました。

▼ p.268 ロシア



↑ ロシアにおける鉱産資源の輸出額の推移 資源価格の上昇や急落が、ロシア経済の全体に大きな影響をおよぼしている(→p.107図7)。

ロシアの資源輸出額の急落について、解説を追加しました。



↑ 原油価格と原油産出のOPEC諸国の割合の推移

▼ p.107 資源・エネルギー

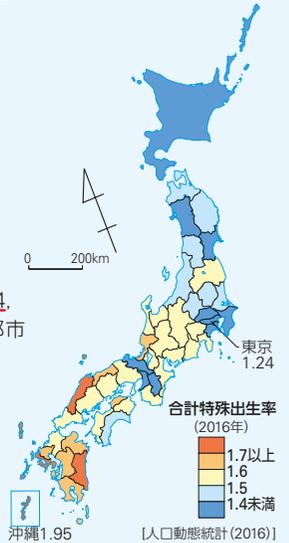
アメリカのシェールオイルの増産により急落した原油価格は、採算割れによる生産の減少や、OPECによる減産が行われ、回復してきています。

▼ p.149 日本の人口問題

7 都道府県別の合計特殊出生率

日本全体では1.44だが、最低の東京は1.24、最高の沖縄は1.95と地域差が大きい。大都市圏での低さがめだつ。図1と比べてみよう。

日本の合計特殊出生率は、最低値の1.26(2005年)から上昇していますが、依然として人口置換水準の2.07を大きく下回っています。統計更新に伴い、地域差が出るよう階級区分を変更しました。



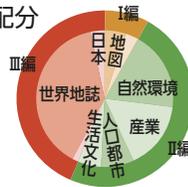
客観的な事情の変化を反映

箇所	内容	更新文
p.107 表9	OPEC加盟国の追加	2018 <u>コンゴ共和国</u>
p.146 図1	国名の変更	スワジランド→ <u>エスワティニ</u>
p.177, 15行	カスピ海の領有権対立の収束	石油と天然ガスの宝庫とされるカスピ海でも、領有権をめぐる沿岸諸国の間で対立、紛争が続いたが、 <u>2018年に協定が結ばれた</u> 。
p.199, 10行	南北朝鮮首脳会談	初めての南北首脳会談が実現し、 <u>2007年、2018年にも同会談が行われている</u> 。
p.246 図2	イギリスのEU離脱	2016年に国民投票でEU離脱が決まったイギリスでは、 <u>2年を期限とした離脱交渉が進められた</u> 。
p.285, 左段12行	NAFTAの見直し	また、協定によって、投資に関する規制が緩和され、メキシコやカナダへのアメリカ資本の進出が活発化するなど、3国間の経済面での一体化が進んできた。 <u>2017年にアメリカの大統領が交代し、協定の見直しが行われている</u> 。
p.306. 4行	北海道胆振東部地震、洪水・土砂災害の反映	しかし、日本には自然災害が絶えない。世界でも有数の地震や噴火の多発地帯にあるため、東日本大震災での <u>甚大な被害に続き</u> 、御嶽山の噴火や熊本地震、 <u>北海道胆振東部地震でも被害が発生した</u> 。このほか台風の前線に位置することもあり、洪水や土砂災害も <u>毎年のように</u> おきている。

# 新編 詳解地理 B 改訂版

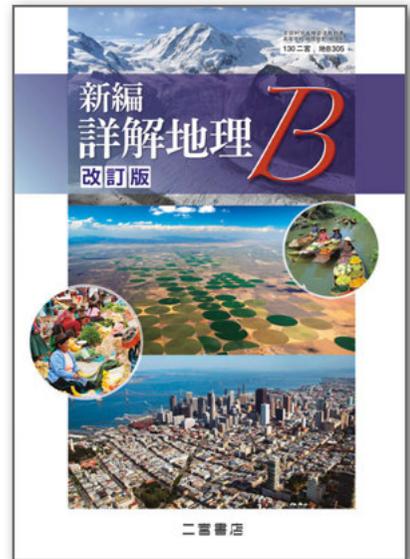
B5 判・全カラー 326 頁  
図表680点・写真420点

ページ配分



詳しく解りやすく  
教えやすい

生徒が自ら読んで  
理解できる教科書に



教授資料▶本誌 p.26-29  
関連教材▶本誌 p.30-31

## ■ 本書の特徴

### 1 第Ⅱ編 理解が深まる系統地理学習

本誌紹介ページ

- 地形・気候について、因果関係をわかりやすく整理しました。…………… p.6-9
- 農業、工業、人口、村落・都市など、最新の動向を反映しました。…………… p.10-13
- 各節末の「世界の中の日本」では、日本の現状と課題を考えさせます。… p.14-15

### 2 第Ⅲ編 地誌学習の充実

- 「特色ある事象から考察」では動きのある地域を動的に、「項目ごとに考察」では自然・産業・生活などの項目を通して学習します。p.16-19
- 比較地誌では、ドイツとポーランド、オーストラリアとカナダについて、二つの国の類似点や相違点を整理・考察することから、理解を深めます。…p.20
- 最終章「現代世界と日本」で、自分の考えを提言としてまとめます。……………p.21

### 3 第Ⅰ編 地理的技能の着実な習得

- 地理的スキルコラムを増強。読図力・判定力が身につきます。…………… p.22-23  
気候区判定、地形図新旧比較、三角グラフ・散布図、写真判読
- 地形図 15 事例 (地形、村落・都市) により読図力を養成します。…………… p.24-25

## ■ 内容構成と特設コラム

編	章・節	特設コラム	配当頁	
第Ⅰ編 地図と地理的技能	第1章 地理情報と地図		16	
	1節 世界観の変化と地図		4	
	2節 地球儀と世界地図	技能 時差とサマータイム、世界地図の読み方	6	
	3節 地理情報の地図化	技能 統計地図、GISで作図、電子地図の活用	6	
	第2章 地図と地域調査		9	
	1節 地図の活用	技能 地形図の読み方	4	
第Ⅱ編 現代世界の系統地理的考察	第1章 自然環境		58	
	1節 地形	技能 地形図・ハザードマップ 日本 地形と災害	24	
	2節 気候		8	
	3節 自然と生活	技能 気候区判定、雨温図、自然の写真 日本 気候と災害	18	
	4節 環境問題		8	
	第2章 資源と産業		50	
	1節 農林水産業	技能 農産物の生産・輸出統計 日本 農業と課題	14	
	2節 資源・エネルギー	日本 資源・エネルギー問題	10	
	3節 工業	技能 工業立地 日本 グローバル化の中の工業	14	
	4節 流通と消費	技能 三角グラフと散布図 日本 貿易と投資、観光	12	
	第3章 人口と村落・都市		24	
	1節 人口	日本 人口問題	10	
	2節 村落・都市	技能 新旧地形図、形態を読む 日本 村落・都市の課題	14	
	第4章 生活文化と民族・宗教		17	
	1節 衣食住	技能 住居の写真と自然環境	6	
	2節 言語と宗教		4	
	3節 民族と国家	日本 領域と領土問題	7	
	第Ⅲ編 現代世界の地誌的考察	第1章 現代世界の地域区分		4
		第2章 現代世界の諸地域		120
		1節 中国 —発展する大国に着目	地域 香港・台湾・モンゴル 課題 環境問題	12
2節 韓国 —近隣諸国との関連に着目		課題 人口と食料・資源確保	8	
3節 東南アジア —項目ごとに整理		課題 居住・都市問題	12	
4節 インド —巨大な人口に着目		地域 南アジア 課題 居住・都市問題・貧困	10	
5節 西アジア・中央アジア —項目ごとに整理		課題 民族紛争 パレスチナ紛争とクルド人	8	
6節 アフリカ —項目ごとに整理		課題 人口増加と食料問題	10	
7節 EU —地域の統合に着目		課題 高齢化社会	14	
8節 ドイツとポーランド —国を比較		課題 労働力移動と文化交流	4	
9節 ロシア —体制転換後の社会と経済に着目		課題 北極圏開発と環境問題	8	
10節 アメリカ —項目ごとに整理		地域 NAFTA 課題 居住・都市問題	14	
11節 ブラジル —地域開発と経済発展に着目		地域 ラテンアメリカ産業 課題 国土開発と熱帯林破壊	10	
12節 オーストラリアとカナダ —国を比較		地域 ニューージーランド、オセアニアの島々	10	
第3章 現代世界と日本			10	
1節 世界の中の日本		4		
2節 持続可能な社会に向けて	技能 課題の探究手順、地域の将来像を描く	6		

# ■ 大地形・小地形について それぞれの形成過程をわかりや

## 1章1節 地形

■ 大地形について「世界規模で大観→成因→時代による区分」の順に、成り立ちと特徴を整理しています。

▼ p.32

世界図の比較で  
大地形の成り立ちが  
大観しやすくな  
りました



大地形とプレート分布を比較

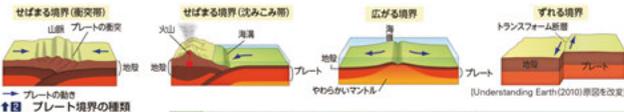
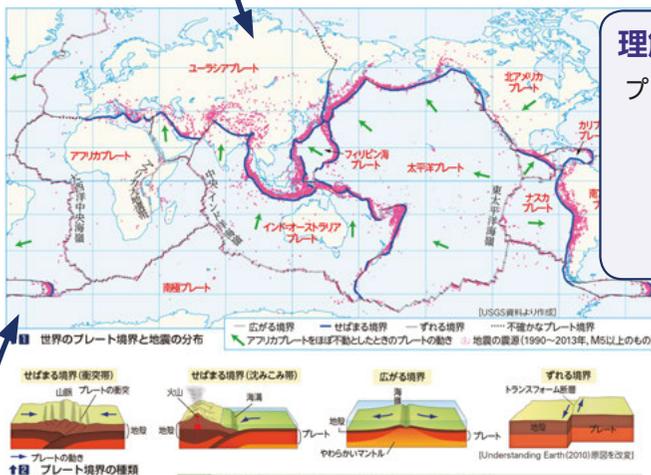
### 理解① 大地形の空間スケールの認識

**地形の規模** 地形はさまざまな規模でとらえることができる。図1の世界地図に見られるような大陸と大洋や、大陸をふちどる大山脈、また日本列島などをひとまとまりにとらえたものを大地形という。一方、山の尾根や谷、川の曲がり方など、私たちが地表から見渡せる地形は、小地形という。大小さまざまな地形は、地質年代であらわされる地球の歴史のなかで形成されてきた。大きな地形ほど、できるだけ長い時間がかかっていることが多い。

## 第1節 地形

### 1 地球内外の力がつくる地表のかたち

▼ p.34



### 2 地殻変動でつくられた大地形

プレート 地球表面は厚さが数十～200kmほどの硬い岩石の層で、この層は十数枚に分かれており、それぞれがプレートとして動く。

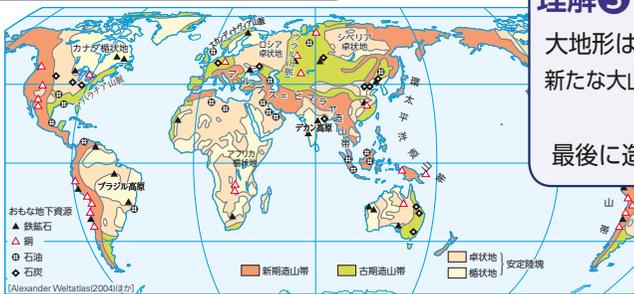
### 理解② プレートテクトクスと大地形

プレートの動きに着目して、地殻変動や火山活動とそれによる大地形の発達を明らかにするプレートテクトクス理論

プレート境界の種類に着目し、大地形との関係を整理する。

- せばまる境界  
衝突帯…地殻の厚み増し大山脈  
沈み込み帯…海溝
- 広がる境界…海嶺
- ずれる境界…横にずれる断層

### プレートの動きと造山帯、資源の分布を比較



▲ 陸地の地質の大区分と地下資源の分布 新期造山帯・古期造山帯・安定陸塊は地殻をつくる岩石の新旧で区分される。

年数(百万年前)	540	245	295	180	65	23	2.6
地質時代	先カンブリア時代	古生代	中生代	新生代	第三紀	第四紀	更新世
造山帯	安定陸塊	古期造山帯	新期造山帯	新期造山帯	新期造山帯	新期造山帯	新期造山帯

▲ 地質時代区分と造山運動 46億年にわたる地球の歴史は、基本的に生物の化石を基準に区分される。大地形の発達をみるには1000万年以上を単位とした区分が、小地形の理解には新生代を細分した区分が役に立つ。完新世は約1万年前に始まった。

### 理解③ 造山運動の時代による大陸の区分

大地形は億単位の長い年月をかけて形成  
新たな大山脈や列島をつくる大規模な地殻変動＝造山運動

最後に造山運動があった時代により区分 → 造山帯

- 新期造山帯…中生代以降  
山脈が多数隆起し侵食が活発  
→ 地表の凹凸多い
- 古期造山帯…古生代  
ほとんど隆起せず、長期間の侵食  
→ ゆるやかな丘陵・平野
- 安定陸塊…先カンブリア時代  
侵食され続け平坦に

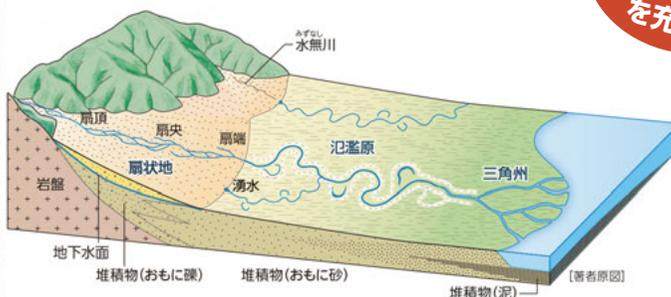
### ■ 河川のはたらきにより形成される地形について、上流から順に、その形成過程や特徴、土地利用や災害などの人間生活との関係を整理しました。

- ▶ さまざまな河川地形の形成過程を、土砂の侵食・運搬・堆積の状況とともに丁寧に解説しました。
- ▶ 模式図と地形を鳥瞰する写真を一新し、地形の概観と形成過程が理解しやすくなりました。
- ▶ 自然災害とその対策、土地利用や土地開発など、人間生活との関連を具体的に解説しました。

#### 山地→扇状地→氾濫原→三角州



↑黒川川扇状地と飛騨山脈 (富山県, 2000年撮影)

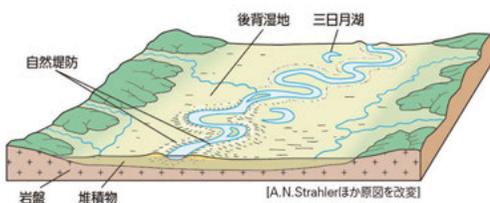


↑河川沿いの堆積平野 河川の流れは、勾配が急なほど、また水深が深いほど速くなり、流れが速いほど土砂を運搬する力が増す。そのため、増水時に多くの土砂が運搬され、水の流れが弱くなると堆積する。また、山地が侵食され生じた土砂は、平野に運ばれると粗い土砂から先に堆積する。

小地形の  
模式図、  
鳥瞰写真を  
充実!!

◀ p.40

#### 氾濫原



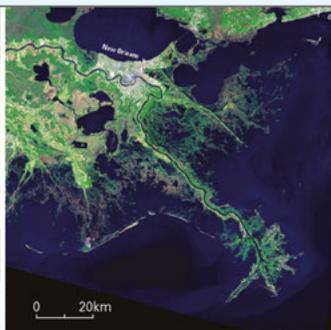
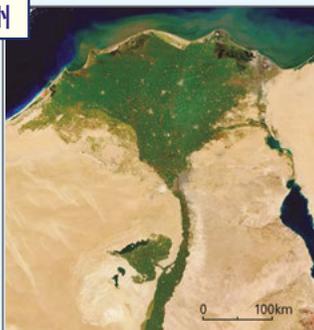
↑氾濫原の地形 蛇行する河川は、カーブの外側の岸を侵食し、内側の岸を堆積でふくらませ、徐々に流路を変え、屈曲を強めていく。そして、ときおり流路が短絡(ショートカット)され、流路跡に三日月湖(河跡湖)が残される。



↑蛇行河川(アメリカ・アラスカ州, 2004年撮影)

◀ p.41

#### 三角州



↑ナイル川の円弧状三角州(左)とミシシッピ川の鳥趾状三角州(NASA衛星画像, 左2011年, 右2013年撮影) 三角州は河川がもたらす土砂の量と海の流の強さなどによって、円弧状や鳥の足あのような鳥趾状など、異なる形になる。

#### 低地と台地



↑低地と台地(下総台地, 2013年撮影) 水田の広がる平坦面が低地、林に囲まれた高台が台地であり、台地上は畑となっている。

◀ p.42

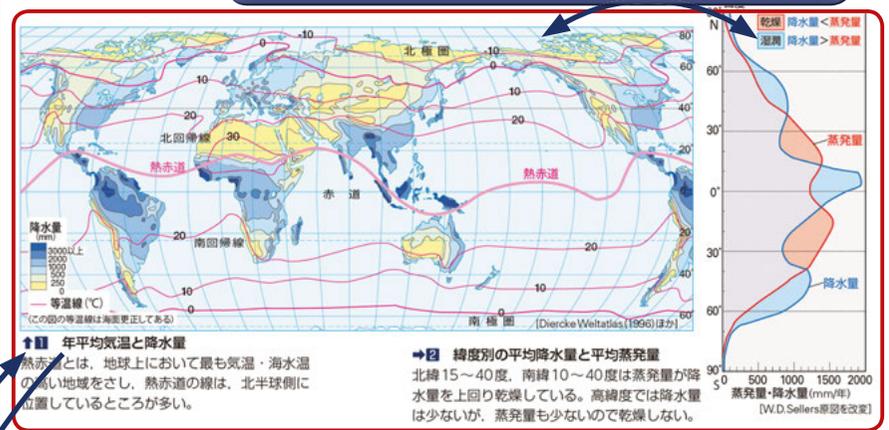
# ■ 気候要素と気候因子の関係，気候の地域性をわかりやすく

## 1章2節 気候

■ 分布図・模式図を比較・対照させることにより，地球規模での気候の

▼ p.56

気温と降水量分布を世界図と模式図で整理しました



気候要素と因子  
因子による地域性

■ 気候のしくみについて  
順序よく解説します。

### 1 気候のしくみ

- ① 気温→大気大循環→降水量
- ② 気温・降水量の季節変化
- ↓
- ③ 海流
- ↓

### 2 気候の地域性

- ① 季節風
- ② 海洋性気候と大陸性気候
- ③ 西岸気候と東岸気候

## 第2節 気候

### 1 気候のしくみ

**気候要素と気候因子** 気象が，刻一刻と変化する大気の状態を示すのに対し，気候は一つの地域で長年にわたってくり返される総合的な大気の状態をいう。気候のようすを示すものとして，気温・風（風向・風速）・降水量・湿度などの気候要素があり，気候要素は緯度・標高・海陸分布・地形・海流・海岸からの距離（かくかいど）などの気候因子の影響を受けている。地域によって，気候にさまざまな違いや特色がみられるのは，こうした気候因子の影響による。

**気温** 世界の年平均気温をみると，気温は低緯度から高緯度に向かうにつれて低下し，等温線は緯線にほぼ平行している（**図1**）。高緯度ほど，太陽光は地球表面に対して低角度から射しこむため，受ける熱の量（にちから）が少なくなるからである（**図3**）。しかし，同じ緯度でも，海陸の分布や標高・海流の影響で，等温線は必ずしも緯線と平行になるとは限らない。一方，気温の**日較差**や**年較差**は海岸部で小さく，内陸部で大きくなる。また，気温は標高が100m高くなるごとに約0.55℃下がる。この割合を気温の**減速率**という。

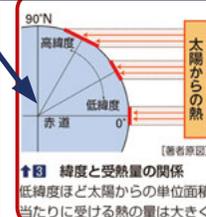
**風と大気大循環** 風は，地球をとりまく大気の流れであり，地球規模での大気の流れを大気大循環という（**図5**）。この循環によって，低緯度地域から高緯度地域に熱が運ばれ，両地域の温度差が激しく

**図4**を見ると，世界各地の雲は，大規模な大気の流れの影響を受けて発生していることがわかる。また，**図5**を見ると，降水量の多い日本と同緯度でも，西アジアや北アフリカは著しく乾燥していることが読み取れる。大気の流れと世界の気候の関係を考えてみよう。

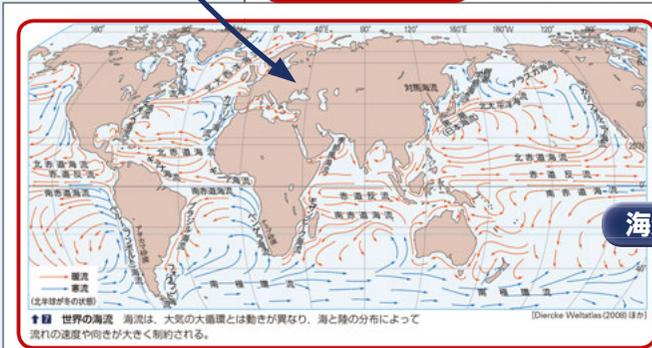
#### ことばの整理

**日較差と年較差**  
日較差は日最高気温と日最低気温の差をいい，年較差は最暖月平均気温と最寒月平均気温の差をいう。

模式図でわかりやすくしました



▼ p.58 海流



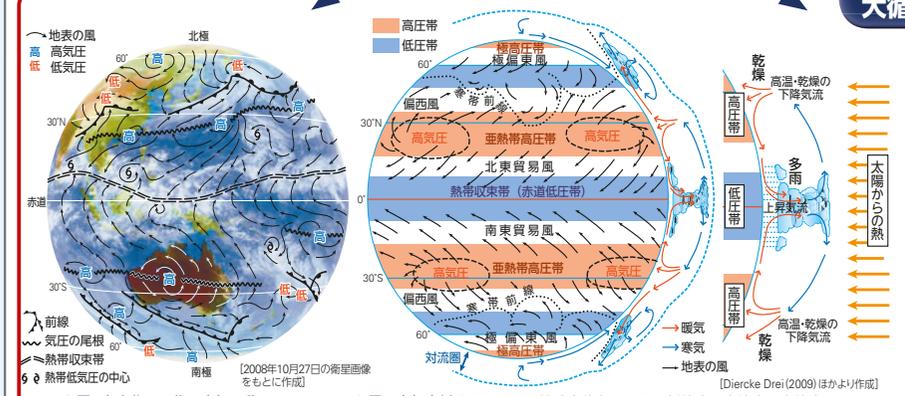
海流と気候の地域性との関連が整理できます

**海流** 海洋の表層にも，大気の大循環と似た大規模な海水の流れがある。それが海流である（**図7**）。海面付近の卓越風（せつとくふう）は，海流の形成に大きく関係している。

しくみがしっかり理解できます。

p.57

衛星画像と模式図で大循環を丁寧に解説



↑ 気象衛星画像と大気の動き 気温の地域差が風をおこし、雲や降水量に影響を与える。

↑ 大気大循環のしくみ 地球全体をみると、低緯度・中緯度・高緯度の三つの対流系がある。上昇気流がおきる赤道付近と、極偏東風と偏西風がぶつかり上昇気流がおきる場所が、低圧帯となっている。

[Diercke Drei (2009) ほかより作成]

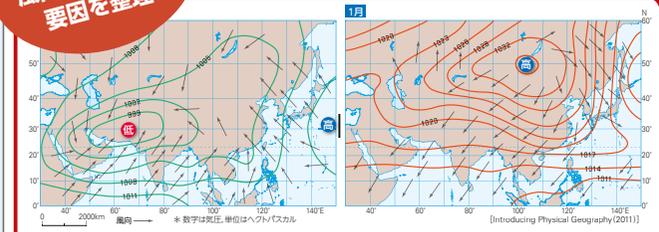
風は、気圧の高いところ(高圧帯)から低いところ(低圧帯)に向かって流れる。熱を受けて暖められた赤道付近は、上昇気流によって熱帯収束帯(赤道低圧帯)となり、この上昇気流は上空で南北に分流したあと、緯度20~30度付近で下降し亜熱帯高圧帯を形成する。亜熱帯高圧帯では、下降した気流はさらに低緯度と高緯度に分流する。低緯度への風は熱帯収束帯に向かうが、地球の自転の影響で北半球では進行方向の右へ曲がり北東貿易風になり、南半球では左へ曲がり南東貿易風になる。一方、高緯度へ向かう西寄りの風は偏西風とよばれる。偏西風が発する地域には、高緯度から寒冷な空気の流れこみ、温暖な空気とぶつかり、上昇気流がおき、寒帯前線が生まれる。

① 一般に降水量が少ないと乾燥し、多いと湿潤になる。ただし、降水量がある程度あっても、蒸発量がそれより多いために乾燥する地域や、逆に降水量が少なくても蒸発量がさらに少ないために湿潤になる地域もある。

**降水量** 地表付近の水蒸気を含む空気は、地面や海面で暖められ、上空で冷やされると雲ができて雨となる。雨は上昇気流の発生する低圧帯に多く、年平均降水量をみると、上昇気流の盛んな熱帯収束帯で特に多い(図2)。一方、下降気流を生ずる高圧帯では雨は少ない。熱帯収束帯に雨を降らせた気流は、上空を亜熱帯高圧帯まで移動して高温・乾燥の下降気流となるため、下降気流の周辺は乾燥して砂漠が生まれる。降水量は、緯度分布、海流などの気候因子にも左右される。

地球の自転軸は約23度26分傾いているため、

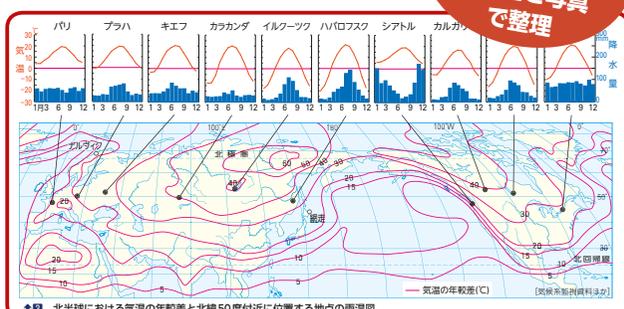
モンスーンの風向きの変化の要因を整理



↑ アジアのモンスーン 7月(左図)にはインド北西部を中心に低気圧(モンスーン低気圧)が発達し、それに向かって周辺の海洋から夏のモンスーンが吹く。1月(右図)にはシベリア高気圧が発達し、寒冷で乾燥した空気が周辺の海域に流れ出る。

2 気候の地域性

**モンスーン** 季節によって風向きが変化する大規模な風をモンスーン(季節風)という。モンスーンは、世界最大の大陸であるユーラシア大陸と、広大な太平洋・インド洋の間、特に東アジア・東



↑ 北半球における気温の年較差と北緯50度付近に位置する地点の雨量

東岸・西岸気候の特徴を雨量図と写真で整理

**西岸気候と東岸気候** ユーラシア大陸や北アメリカ大陸の中緯度の東岸と西岸の気温をほぼ同緯度と比較すると、夏は東西差が小さいが、冬は西岸の方が東岸より高くなっている(図3)。これは、中緯度では上空を偏西風が吹き、大陸の西岸では風の海洋の影響を強く受けて、寒さのきびしくない西岸気候になるためである。沿岸に暖流が流れていれば、偏西風が水蒸気をもたらし、年間を通じて湿潤になる。一方、東岸では、風上大陸や低緯度側の高温な海洋の影響で、年較差の大きい東岸気候になる。

ユーラシア大陸の西岸では、暖流の北流によって内陸深くまで運ばれるため、霜が広がっている。また、ノルウェーの北海岸にフェストなど、北極圏内であっても冬季に雪みられる(写真4)。



↑ 船定に接岸するオホーツク海の流氷(北海道、2011年2月撮影) 河川水により塩分濃度が薄いことと、強い寒波の影響で、世界でも中緯度近くまで広がる流氷となっている。



↑ ノルウェー北部の不凍港・ナルヴィク(2012年12月撮影) 1年を通じて海面が凍結しないため、鉄鉱石の輸送として利用されている。

p.61

p.60

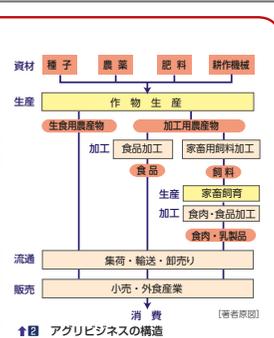
## 2章1節 農林水産業

■ 世界規模で農産物の生産・加工・流通が行われる現在、食料自給率や国際価格の変動、安全性、食料不足などの課題が大きくなってきています。食料需給に影響をもつアグリビジネスについて、資料とともに解説します。

p.94



↑ スベリオル湖岸の積出港に設けられた穀物エレベータ（アメリカ・ミネソタ州、2013年撮影）



### アグリビジネスによる農業支配

世界の穀物市場を支配するアグリビジネスの手法と影響力を解説します。

### 5 世界農業の動向

**アグリビジネスによる農業支配** 農産物の生産には、種子の品種改良をはじめ、肥料や農業、各種耕作機械の開発・製造など、各種の分野がかかわっている。また、収穫された農産物を集荷・輸送し、消費者まで届ける流通や販売、さらに、農産物から乳製品・冷凍食品などをつくる加工にも、多くの企業や組織が関連しあう。こうした農産物の生産や販売、加工などに関連する経済活動を幅広くとらえてアグリビジネスとよんでいる（図2）。

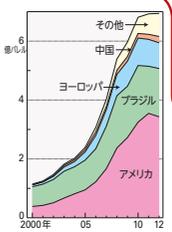
なかでも、穀物メジャーとよばれる巨大穀物企業を代表する組織で、国際的な穀物流通に多くの農家と契約し、穀物の集荷や運搬、販売や家畜飼料、肥料・農業の取り引きなど、競争力を高めている。また、人工衛星の画像を解析して収穫量を予測するなど、生産と需要の情報を駆使し、国際穀物価格の動向にも大きな影響を

与えている。高度化する農業技術 アメリカを中心にバイオテクノロジーの進歩により、除草剤に耐性をもたせたり、害虫への抵抗性を高める遺伝子組換え作物の開発が進んでいる（図4）。しかし、在来種と交配したときの生態系への影響などは、遺伝子組換え作物を材料に用いた食品には、高収量のハイブリッド品種も開発されて生産が増加した。食料用の燃料用バイオエタノールの原料としても需要が

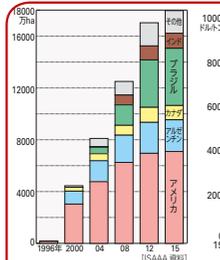
農産物の貿易自由化や国際価格の変動のなか、自国農業の保護も進められ、利害対立がおこっていることを理解させます。

① **バイオテクノロジー** 生物学と化学の融合による生命科学の技術を生産に活用し、遺伝子組換えや細胞融合などによって品種改良などを行う。

② **ハイブリッド品種** 一代交配品種。高収量と特定の品質をもつよう人工的に交配されている。品質が二代目に引き継がれないため、種子を毎年購入する必要がある。



↑ バイオエタノール生産の推移 アメリカではとうもろこしを、ブラジルではとうもろこしを発酵・蒸留して植物性のエチルアルコールがつくられる。おもに自動車用燃料として使用される。



↑ 遺伝子組換え作物の栽培面積の推移 ブラジル・インドをはじめ、新興国や発展途上国での栽培面積が増加している。



↑ 米・小麦・大豆・とうもろこしの国際価格の推移 作物の国際価格は、主要生産国のその年の豊作不作のほか、輸出規制や投機などの影響も受けて変動する。



↑ シカゴ商品取引所（2009年撮影） ミシガン湖の南に位置するシカゴは、小麦やとうもろこしの集積地である。世界最大の穀物の先物取引所となっている。

**貿易拡大と自国農業の保護** 農産物貿易が拡大するにつれて、農業生産力の高い国と、食料自給率の低い国との間に、大きな利害の対立が生まれるようになった。国際貿易に関するルールを決めるWTO（世界貿易機関）<sup>①</sup>では、農産物貿易の自由化を進める交渉が行われている。そのなかでも、アメリカ・カナダ・オーストラリア・ブラジルなどの穀物や牛肉などの生産量が多く国際競争力の強い国は、貿易相手国に関税や数量制限の撤廃を要求している。一方、日本・スイス・韓国など、農業の国際競争力が弱く食料自給率が低い国は、輸入農産物に対する関税や、自国農産物の価格保証制度、農家への補助金など、自国農業の保護を求めている。各国間の利害が対立して、交渉は難しくなっている。

**国際価格の影響力** 主要穀物や大豆などの国際価格は、アメリカやオーストラリアなどの生産国の干ばつや天候不順による生産量の減少や輸出規制だけでなく、中国などの新興国の需要やバイオ燃料の生産の増加、商品取引所での先物取引<sup>②</sup>による投機によっても変動する（図5）。食料を輸入にたよる食料自給率の低い国にとって、農産物の国際価格の変動による影響は大きい。特に資金力に欠ける発展途上国では、輸入がどこにより、食料事情が悪化してしまう。

① **世界貿易機関(WTO)** 国際連合の関連機関の一つで、貿易上の協定を決めたり、貿易で生じる加盟国間の紛争を解決したりする。それまでの「関税と貿易に関する一般協定(GATT)」を引き継いだ。1995年に創設された（p.132）。

② **商品先物取引** 農産物や鉱工業材料などの将来の売買を前倒しして、現時点で約束する取引引き。前もって取り引きすることで、価格変動による損失を防ぐことから始まった。

ハイブリッド品種、遺伝子組換え作物、バイオエタノールなど、農業技術の高度化による市場への影響を解説します。

### 農業技術の高度化と食料事情の変化

### ボイノト補説 国境をこえた農業投資

2000年代に入り、食料価格の高騰や将来の食料危機への不安から、国境をこえて、中南アメリカやアフリカ、東ヨーロッパなどの農地を長期にわたり借り入れ、農業投資を行う動きがめだっている。外国に投資をするのは、穀物メジャーなどの商社を中心とする民間企業が多く、日本の大手商社も外国商社と事業提携したりして、食料確保のために海外投資を行っている。一方、中国や韓国、インド、中東の産油国などの場合は、政府と企業が一体となって投資する例が多い。しかし、大規模な農業投資は、結果として投資先の国の農地を使用することになるため、警戒を強める国も多くなっている。

### 2章3節 工業

産業革命から始まった工業化は、さまざまな技術革新を経て世界各国に広がり、新しい分野や工業地域の成長へとつながっています。各種工業の特徴や動向について、具体例を通して解説します。

p.114

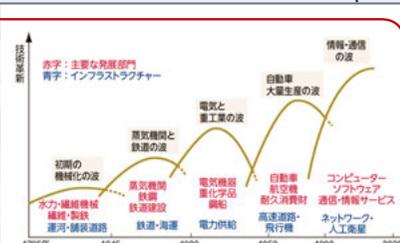
節冒頭で、新しい技術の発明が経済成長につながることを示し、工業の発展を理解させます。

#### 歴史的経緯と地域的広がり

先進国、アジア NIEs, BRICS, それぞれの成長の背景と特徴を、時代を追いながら解説します。



↑ フォード社のT型モデルの生産ライン  
1908年からの20年間に約1500万台が生産され、大量生産という20世紀型の工業が築かれた。移動式の組立ラインで、徹底的に分業を進めたため、熟練していない労働者も従事できるようになった。



↑ 技術革新もたらす経済成長の波(コンドラチェフの長期波動)  
新技術の発明がきっかけとなって生じる50~60年周期の技術革新の波を、その法則性を発見した経済学者の名前にちなんで「コンドラチェフの波」という。技術革新の段階に応じて、工業活動の地域的展開も変化してきた。

p.115

### 第3節 工業

#### 1 世界の工業の成り立ち

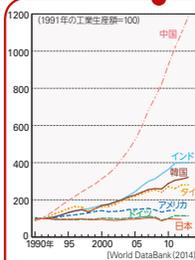
工業の成立と発展  
工業とは、農林水産業や鉱業で生産された原材料を加工し、有用な製品をつくり出す産業のことである。世界の工業は、技術革新が繰り返されることによって発展してきた(図2)。

工業は、まずは、家内制手工業から問屋制家内工業に、さらに、労働者を工場に集め分業によって加工生産を行う工場制手工業(マニュファクチャー)に移行した。その後、18世紀末までには、イギリスで綿工業の紡績や織布の工程が機械化され、工場制機械工業が発展した。蒸気機関や鉄道が発明され、生産力の拡大とともに、さまざまな社会的変化がおこった。こうした一連の変革を産業革命とよんでいる。

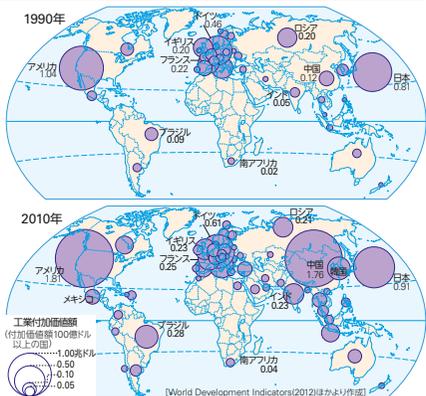
19世紀後半には、繊維製品や食品などの軽工業だけでなく、鉄鋼業や機械工業などの重工業が盛んになった。動力が水車から蒸気機関に、燃料が木炭から石炭に代わったことから、工場は炭田地域や交通に便利大都市に集中するようになり、ドイツのルール地域やアメリカの五大湖沿岸地域のような工業地域があらわれた。また、19世紀末には電力利用が普及し、電気機器工業や化学工業が盛んになった。

一方、20世紀なかばには自動車や家電製品など、画一的な製品を大量に生産する加工組立型工業が確立した(写真1)。さらに、1970年代になると、コンピューター技術による自動化や工場の大規模化が進んで、効率的な生産が可能になり工業は飛躍的に発展した。現在はICT(情報通信技術)の進歩が、工業に新たな変革と成長を生み出している。

工業の成立と歴史を、産業革命から現在のICT(情報通信技術)の進歩までたどります。



↑ おもな国の工業生産額の推移



世界工業生産の変化  
工業付加価値額は、工業製品の販売額から、資金を除く原材料費や外注費などの諸費用を差し引いた額のことです。工業での労働が生み出した価値の大きさを表す指標として使われる。

世界の工業分布  
世界の工業生産の変化を見ると(図5)、1990年には、西ヨーロッパ諸国やアメリカ、日本などの先進工業国が生産の大半を占めていたが、2010年には、BRICSとよばれるブラジル・ロシア・インド・中国・南アフリカ共和国、韓国・メキシコ・東南アジア諸国での生産が増加していることがわかる。特に、1970年代からNIEs(新興工業経済地域)とよばれる韓国やシンガポールで工業化が進み、1990年代以降はタイやマレーシアなどの東南アジア諸国や、中国・インドなどで飛躍的に発展した(図4)。これは、先進工業国が、特に自動車工業や電気・電子機器工業の

- BRICS ブラジルBrazil・ロシアRussia・インドIndia・中国China・南アフリカ共和国South Africaの新興大国の頭文字をとったもの。アメリカの証券会社が発表し、広く使われるようになった。
- NIEs(新興工業経済地域) 発展途上国・地域のなかで



↑ 航空機生産の国際分業をささえる専用輸送機(上:中部国際空港, 2009年撮影。下:イタリア, 2007年撮影)をいれ、工場へ輸送する。



↑ 旅客機B787型機製造での国際分業の例

#### グローバル化の動き

国際分業について、航空機生産を例に解説します。

#### 4 グローバル化する工業生産と多国籍企業

国境をこえる工業生産  
一つの製品がどの国でつくられたかがわかりにくくなっているのが、現代のグローバル化時代である。たとえば、旅客機もスクーターも、最終組立はある一つの国で行われても、部品はさまざまな国でつくられている(図6)。つまり、ある部品はA

p.122



3章2節 村落・都市

■ 村落の成り立ちについて、地形図や衛星写真、模式図で実例を示しながら、その立地背景や変容について、考察させます。

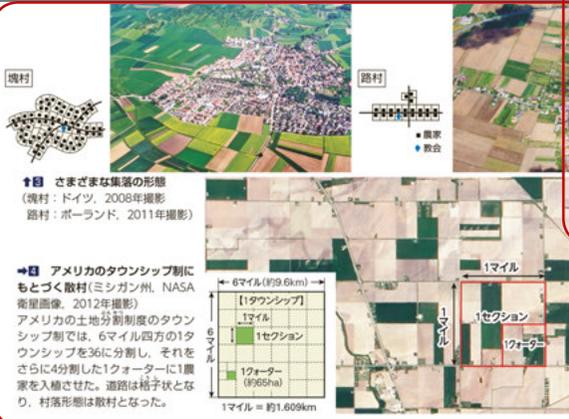
村落の成り立ちについて、自然条件と社会条件の観点から、具体例とともに整理しました。

▶ p.150

衛星画像の追加により空から形態を大観

衛星写真により、村落・都市の実際の形態やその規模を実感できます。

▼ p.151



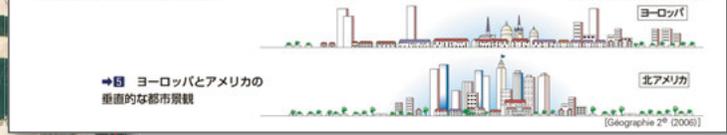
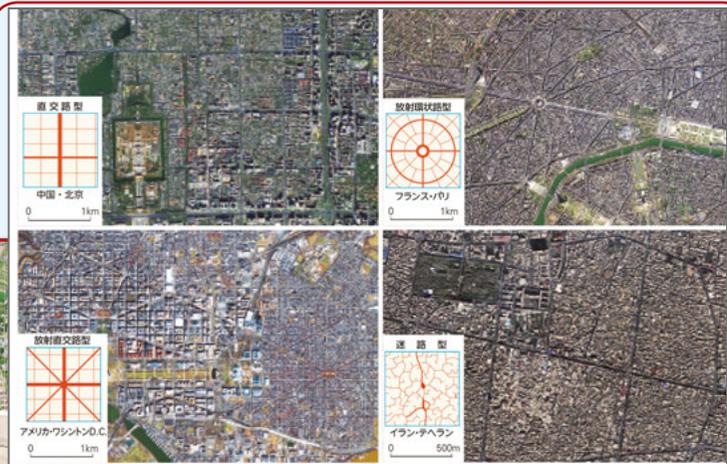
村落の形態 村落を家屋の分布からみると、集村と散村に大別される。ヨーロッパやアジアなどの歴史の古い地域では、多くの家屋が集まる集村が一般的で、なかでも家屋が不規則な塊となつて並ぶ

1 村落の成り立ちと機能

村落と都市 人々の社会生活の基盤としての住居の集まりを村落といい、村落と都市の二つに区分される。村落は、人口が少なく人口・家屋密度も低く、農業や漁業などの第1次産業従事者が多い。反対に、都市は、人口が多く人口・家屋密度も高く、製造業などの第2次産業や商業・サービス業などの第3次産業の従事者が多くなっている。

村落の立地 村落は、生活や農業・漁業などの仕事の場となるため、立地は自然条件に大きく左右される。まず、生活には水が欠かせないため、立地に選ばれるのは川や泉のほとりが多かった。砂漠のオアシスや山麓、扇状地の扇端部に集落がみられるのも水が得やすいためである(写真1)。さらに、生活環境としては高低差の少ない方が適しているため、平坦地に人口が密集するようになった。一方、低地では、水害を避けるために自然堤防や微高地などが選ばれる。濃尾平野の輪中集落<sup>①</sup>などは、周囲に堤防をめぐらすことで水害という悪条件を克服してきた。また、農業には気候条件も欠かせないため、村落は、極度に乾燥した地域や寒冷な地域を避けてつくられている。ヨーロッパの場合、人口分布の粗密は、農耕活動に深くかかわってきたオーク林<sup>②</sup>の北限である北緯60度を境としている。

こうした自然条件のほかにも、外敵や疫病から身を守るために、丘陵や高台が選ばれたり(写真2)、政府の開拓政策や農業の灌漑技術の発達に影響を受けるなど、村落の立地は社会条件にも左右される。



▲ p.157

# 各系統分野の最後に 世界の中の日本を設定

## 2章3節 工業

産業空洞化の克服をめざした日本の技術力を活かす動きについて解説します。

### 日本がかかえる課題

工場の海外移転による空洞化  
雇用の大幅な減少  
工場の閉鎖や生産の縮小

### 国際競争力を高めるために

付加価値の高い製品・部品の製造  
新規分野への参入  
中小企業の技術の活用

### 日本の工業立地の歴史について 各業種の盛衰とともに整理

#### 世界の中の日本

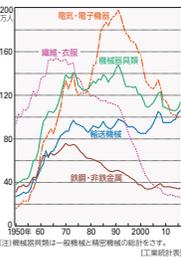


図3 半導体工場の施設を転換した「野菜工場」  
(福島県会津若松市、2014年撮影) 半導体製造のためのクリーンルームを転用し、徹底した品質管理のもとに、腎臓病患者にもやさしい低カリウム野菜の生産されている。



図4 大阪湾岸の製鉄所跡地につくられた液晶パネルと太陽電池の工場  
(大阪府堺市、2013年撮影) 日本企業と台湾企業の共同で運営され、液晶パネルは国内外のテレビメーカーに供給されている。

#### ことばの整理

**非正規雇用と間接雇用**  
非正規雇用とは、パートタイマー・期間工・契約社員など、短期間に限って雇う雇用形態をいう。間接雇用とは、派遣労働や業務請負のように、派遣業者や労働者の間に第三者が介在する雇用形態をいう。

### 5 グローバル化のなかの日本の工業

**日本の工業立地** 日本では、1901年に八幡製鉄所(福岡県北九州市)の操業によって重工業化が始まり、1930年代には重工業の生産額が軽工業の生産額を上回るようになった。第2次世界大戦後は、経済復興のために、鉄鋼やアルミニウムなどの基礎素材型工業に重点がおかれ、1960年代には、太平洋ベルトに鉄鋼-貫鉄所や石油化学コンビナートが次々とつくられた(図2)。1970年代以降は、自動車、電気・電子機器などの加工組立型工業が盛んになり(図3)、高度な技術力や開発力をもつ大都市圏の工場と、豊富な労働力をもつ地方工場が補いあう形で工業立地が進められた。地方には、進出工場を拠点として下請工場が集まるという生産構造が生まれた。

**産業空洞化とその克服** 1970年代に多くの工場が進出した東北地方や長野県などでは、1980年代なかばからの円高によって、電子部品やコンピューター関連機器の生産が外国に移されるようになり、国内の産業の空洞化が始まった。実際、日本の工業は、1991年に出荷額や従業者数で重点としたあと、多くの工場が閉鎖や規模縮小に追いこたれ、繊維・衣服工業や電気・電子機器工業などで大幅に雇用を減らした(図4)。そのため、各企業は、国内市場向けの高級品を製造するのかわりに、新しい国際分野のなかで外国へ資本財や試作品を供給する母工場としての役割に重点をおくのか、あるいは、自社の持つ設備や人的資源、専門技術を活用して新規分野に参入するの(写真5)、方向転換に迫られた。また、パートや契約社員、さらに外国人労働者などの非正規雇用や間接雇用を軸とすることで人員数を削減してきたが、近年は、専任化

による雇用不安や雇用差別が大きな社会問題になっている。一方、製造業の国内雇用は大幅に減少したが、資本財や高度部材の分野で、国内製造業はいぜんとして強い競争力を維持している。

**中小企業が果たす役割** 日本の製造業の中小企業の割合は、事業所数では全体の98%だが、出荷額は半分にすぎない(図5)。しかし大企業の製品のほとんどは、中小企業がつくる部品でなっている。ものづくり立国・日本の経済基盤として、中小企業の技術力が果たしてきた役割は大きい。特に東京都大田区や大阪府大阪市には、世界的にも高度な技術をもつ機械金属関連企業が集中し、互いに強固な連携を保ちながら、住宅と工場が混在する市街地(住工混在地域)を形成している。量産という面では安価な外国製品にたちうちできないが、すぐれた基盤技術の活用によって、生産設備や試作品の製造といった多品種少量生産では、強い国際競争力をもっている。こうした国内工業の活力を、アジア諸地域とも経済的に共生しながら、どのように維持していくかが、今後の日本の工業の大きな課題になっている。

**地場産業の危機と再生** 各地の地域社会に立脚した日用消費財を生産する地場産業にも空洞化が進んでいる。韓国や中国の経済発展によって、日本の地場産業は国際競争力を失い、ほとんどの地域で大幅な生産縮小に追われている。また、産地内の有力企業が中国などに生産拠点を転移する動きも、産地の規模縮小に拍車をかけている。その一方で、日本製品の品質のよさや技能を売り物に、産地ブランド(商標)をかけて、国内市場だけでなく海外の高付加価値をとりこみ、生き残りをはかろうとする動きも進んでいる(写真6)。

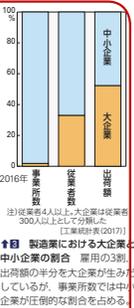
#### ポイント補説

**日本の高度部材技術** 物質を原子や分子サイズで扱うナノテクノロジーのような高度な技術による機能性にすぐれた部材や材料をいう。新たな製造装置も必要になり、多くの産業・企業間で調整が必要になる。日本は、半導体や液晶パネルの製造に用いるフィルター・フィルム類、リチウム電池・太陽電池の製造に用いる各種材料などで、強い国際競争力をもっている。

**基盤技術** さまざまな加工組立型工業の共通の基盤となる産業技術のことをいう。具体的には、成型・加工・切削・プレス加工、熱処理、めっきなどをさす。



図5 地場団体商標に認定された豊岡産と湯浅産のタオル



### 日本の中小企業の役割と今後の課題を統計や事例とともに解説

▲ p.126-127

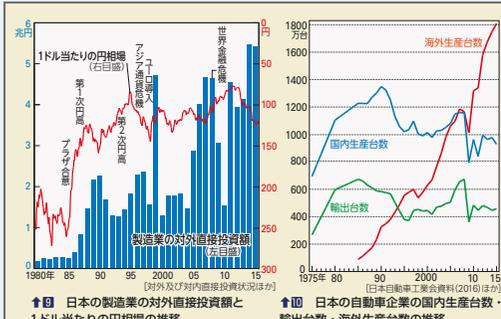


図9 インドの日系企業の自動車工場(デリー郊外、2007年撮影)

日本製品の品質のよさや技能を活かした地場産業の再生について解説

コラムにて、自動車工場を例に、日本の工業の海外展開の経過と現状を解説

◀ p.125 ポイント補説 日本の自動車産業の海外展開

3章2節 村落・都市

農山村だけでなく中小都市の人口減少も顕在化。地域活性化を考察させます。

日本がかかえる課題

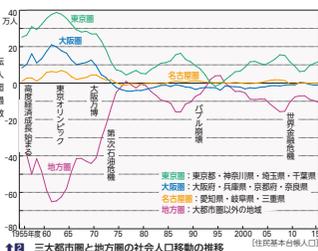
都市への人口流出、過疎化の進行  
地方の高齢化、若年労働者の流出  
地域コミュニティの希薄化

地域の活性化に向けて

住民参加での村おこし・町づくり  
観光地化、地域ブランド  
コンパクトシティの実現

地域の活性化をめざす運動を  
写真で紹介

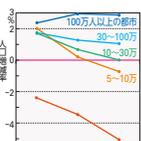
世界中の中の日本



**過疎地域** 人口減少によって生活水準や生産機能の維持が困難になってしまふ状態の地域をいう。法率にもとづく過疎地域は、長期にわたる人口減少率(25~30%以上)のほか、高齢者比率・若年者比率・財政力指数などによって定められている。

5 日本の村落・都市の課題

**東京への一極集中** 高度経済成長期の日本では、大都市を中心とした産業の高度化や雇用拡大によって、農村から都市への人口移動が急増した。1950~75年の三大都市圏の社会増加は1100万人にのぼっている(図2)。そのため、社会基盤の整備が追いつかず、環境汚染や公害、地価の高騰、住宅難、交通ラッシュなどの都市問題が発生した。その後、1975年以降は大阪圏・名古屋圏の人口増加はあったが、東京圏への一極集中が激しくなり、地価が高騰して、都心への通勤・通学者が周辺地域に移転する人口のドーナツ化現象があらわれた。しかし、近年、都心部で地価が下落し住宅の再開発が進んだことから、人口の都心回帰がみられる。地方圏の人口は全体としては持ち直しているが、特に小規模な都市を中心として減少傾向が強くなってきている(図3)。



**地方の変化** 高度経済成長期の日本の農山村では、労働力の流出によって過疎化が広がった。振興策として、都市との地域格差を是正するために、土地改良事業や農作業の機械化とともに、工場の誘致などが進められた。その結果、高速交通網の整備やモータリゼーションの普及、情報化社会の進展によって、地方の生活も大きく変わってきている。しかし、現在も過疎化は続いている。過疎地域は国土面積の約50%をこえるが(図1)、居住人口は総人口の約6%にすぎない。さらに、高齢化や若年労働力の流出によって、地域経済の基盤となる第1次産業が衰退し、伝統の祭りや共同作業、商店の維持も困難になってきている。また、地方都市では、周縁部への大規模小売店の進出が、市内中心部での商店街の衰退を助長している(写真1)。



写真1 店舗のシャッターが閉められたままの県庁所在地の中心部(2011年撮影)



写真2 歴史ある町並みで観光客の誘致をはかる秋田(山田山崎商店街, 2014年撮影) 写真3 ご当地の食を食したまちおこしイベント(福島県郡山市, 2014年撮影)

**都市郊外の衰退** 一方、大都市周辺では、高度経済成長期にベッドタウンとして開発されたニュータウンでの高齢化が著しく、人口減少や空き家の増加に悩む地域が多い。また、個人商店の撤退によって日常生活用品の入手も困難な地区も多く、若者の流出、核家族化や地域コミュニティの希薄化、高齢者の孤立などが社会問題になっている。

**地域の活性化をめざす運動** 国をはじめ各都道府県や市町村は、どうすれば地域に活気を取り戻すことができるのかという課題に直面し、住民参加による村おこしや町づくりなど、地域活性化の取り組みに力を入れている。たとえば、一村一品運動<sup>1)</sup>をおこしたり、伝統的な歴史施設や自然景観の修復・保存を進めて観光拠点としたり(写真2)、独自の工芸品や食材、特産品などを地域ブランドとして、都会のアンテナショップやインターネットを通じて直売したりすることなどである。

また、祭りや民俗芸能などの文化遺産を紹介したり、郷土の名産品やイメージキャラクターなどを通じてイベントを開催したりするなど、知名度を高めようとするさまざまな試みが展開されている(写真3)。

1) 一村一品運動 1980年に大分県で始まった運動で、地域がみずから育てることができる特産品を得意とし、競争力のある商品で地域の活性化をはかろうとする地域振興運動をいう。

ポイント補説 コンパクトシティの実現をめざして

これまで拡張の一途をたどってきた都市が、都市型の環境問題や人口減少、少子高齢化などの課題に直面したことから、コンパクトシティ構想が打ち出されるようになった。都市的な土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に、衰退のみられる中心部の活性化を促す政策である。公共交通機関の利便性を高めるとともに、生活に必要な都市機能を効率的に配置する。たとえば、住宅が郊外に拡散している富山市では、市内の既存の鉄道を用いて整備し、車ではなく公共交通機関の利用を軸に、中心市街地の活性化を図っている。また、東日本大震災後は、避難経路や耐震性・防火性など都市の防災力向上にも目が向けられている。さらに次世代の人口や産業構成を想定するなど、多くの視点を生かした町づくりが進められている。

地方の過疎化の状況を、地図、統計、写真とともに解説

衰退のみられる中心部の活性化を促すコンパクトシティ構想を紹介

▲ p.162-163

系統10分野 次代の日本を考える力 地理学習ならではの アクティブラーニング につながります。

- 日本の地形と自然災害
- 日本の気候と自然災害
- 日本の農業と課題
- 日本の資源・エネルギー問題
- グローバル化のなかの日本の工業
- 日本の貿易と投資
- 日本の観光
- 日本の人口問題
- 日本の村落・都市の課題
- 日本の領域と領土問題

## 2章1節 中国 —発展する大国に着目する

中国の学習は、「発展する大国」を軸に、各事象の特徴・課題を考察させます。

歴史	経済の改革開放政策による変化
産業・経済	発展する工業と貿易構造 / 経済発展をささえる農業
人口	経済発展と人口問題 (巨大な人口・多様な民族)
暮らし	経済発展の地域差と生活の格差 (都市と農村)
課題	中国の環境問題と対策

**本書の特色ある事象に着目する地域**  
 韓国…近隣諸国との関係  
 インド…巨大な人口  
 EU…地域の統合  
 ロシア…体制転換後の社会と経済  
 ブラジル…地域開発と経済発展

円グラフと写真から、中国の世界における位置づけや現在の姿を大観させます。

WTO加盟や経済特区の設置、外国資本の導入など、中国の経済成長を整理します。

### 第2章 現代世界の諸地域



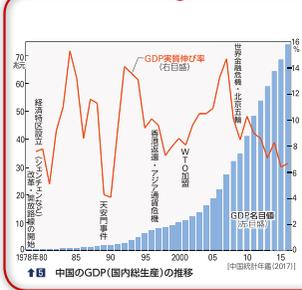

↑ 上海の流漕時間帯の高速道路 (2014年撮影)

↑ 天安門 (北京、2010年撮影)

↑ 世界における中国の割合

項目	中国	アメリカ	日本
人口	13.8億	3.1億	1.25億
GDP	11.6兆円	16.3兆円	5.4兆円
輸出額	2.7兆円	2.1兆円	2.3兆円

### WTO加盟や経済特区の設置、外国資本の導入など、中国の経済成長を整理します。




↑ GDP (国内総生産) の推移

↑ 経済特区・経済技術開発区

### 第1節 中国 —発展する大国に着目する

#### 1 経済の改革開放政策による変化

**経済大国としての中国** 経済発展が著しい中国は、GDP (国内総生産) でアメリカに次いで世界2位となり、輸出額では世界の首位に立つことになった(図④)。工業製品では、パソコン・テレビ・携帯電話・自動車などで世界最大の生産国である。また、繊維産業も盛んで、軽工業から先端技術産業まで、さまざまな分野で工業が発達し、「世界の工場」とよばれている。また、所得の向上によって自動車や家電製品などの耐久消費財の普及も進み、「世界の市場」ともよばれるようになった。中国は近年、外国への投資を積極的に行っており、世界経済に与える影響は大きく、先進国が低成長を続ける現在、インドとともに世界経済の推進力となっている。しかし、そうした発展もごく最近のことであり、1980年代までは経済的に大きく立ち遅れていた。

**近代中国の歩み** 1912年、辛亥革命によって中華民国が成立し、中国最後の王朝である清は滅亡した。その後、日中戦争が繰り返り、第2次世界大戦へと拡大した。この日本との戦争は1945年に終結したが、政治の主導権をめぐる蒋介石率いる中国国民党と毛沢東の指導する中国共産党との間に対立がおき、内戦となった。その結果、共産党が優勢となり、1949年には蒋介石の国民党が台湾に逃れ、新しく中華人民共和国(中国)が誕生した。

年	事項
1911	辛亥革命
1912	中華民国成立
1937	日中戦争始まる
1945	第2次世界大戦終結
1949	中華人民共和国成立
1958	大躍進運動 (1959年頃まで)
1976	文化大革命始まる (1976年まで)
1972	日中関係正常化
1978	改革開放政策始まる
1982	人民公社解体
1989	天安門事件
1997	香港返還
2001	WTO (世界貿易機関) 加盟
2008	北京オリンピック

↑ 近代中国の歩み

**中国共産党による国家建設** 中華人民共和国では、社会主義の理念のもとで生産手段の国有化や労働の共同化がはかられ、計画経済による国家建設が進められた。こうした政策は1958年からの大躍進運動でさらに進められ、企業は国有化され、農村では人民公社がつくられた。工業では、地下資源に恵まれた東北農村が、第2次世界大戦前の日本の支配時代から開発が進んでいたこともあって、重工業の中心となった。

**計画経済から市場経済へ** しかし、計画経済による経済運営は順調には進まず、1966年に文化大革命が始まる。中国は社会的にも経済的にも大混乱におちいった。この社会的混乱は10年間続いたが、文化大革命がおさまると、1978年からは鄧小平の指導のもとに、社会主義体制を守りながら市場経済を導入する試みとして改革開放政策が進められた。農業は人民公社による集団経営から生産責任制による個人経営に移行し、人民公社は解体された。また、農村地域では自治体が経営主体となる郷鎮企業力がもつようになった。民間企業も認められ、一部の国有企業は株式会社に改組されて、民営化が進められた。

また、外国資本も積極的に導入され、外国企業を優遇し誘致を進めるための拠点として、1980年以降は深圳などの華南の沿海部に**経済特区**が、1984年以降は沿海部を中心に**経済技術開発区**が設けられた(図⑤)。経済特区では外国の資本や技術の導入のために優遇措置がとられ、経済技術開発区は、国内企業に対して開放された。これらの地区では外国企業との合弁会社が設立され、輸出指向型工業が発達した。さらに、1990年には上海浦東新区が設けられ、中国の経済・貿易・金融の中心として整備された。このように、現在の中国は沿海部がその発展を主導するかたちになっている。

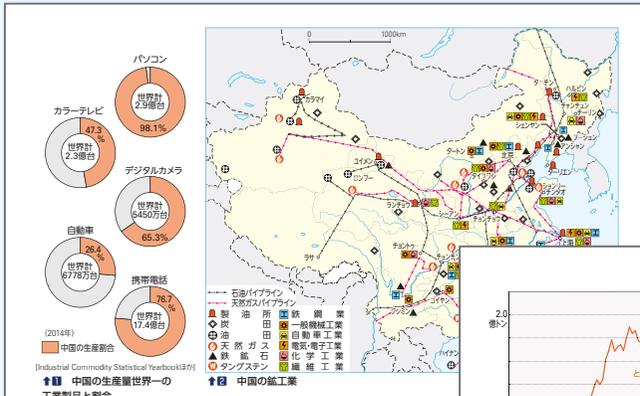
● 人民公社 農村地域での行政と生産を統一し、生活が一体となった共同組織をいう。

● 文化大革命 毛沢東が権力競争のために起こした大規模な社会・政治運動。

● ポイント補説  
 中国の地域区分  
 現代の中国は、経済発展の面から、沿海部(東部)、中部、西部、東北部に分けられる。この区分とは別に、黄河の中下流域を華北、長江中下流域を華中、南嶺山脈以南の地域を華南という。

各地誌の導入部で、年表とともに、地域の歴史的な背景を理解させます。

経済の改革開放政策による変化



### ▶ p.188 発展する工業と貿易構造

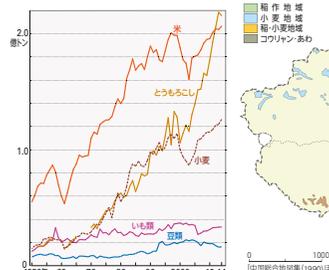
### ▼ p.190 経済成長をささえる農業

## 2 発展する工業と貿易構造

**工業の発達と工業地域の展開** 改革開放政策によって、中国の工業は急速に発展を続けている。1990年代後半から、投資額が60～70%は製造業に集中してきている。外資系企業によるものも増加している。

中国の工業地域は、改革開放政策によって、外国との貿易に便利な沿海部を中心に発達している。上海を中心とする長江デルタ(三角州)や、広東の周辺地域である。一方、内陸部では原料の石炭や鉄鉱石の資源を生かして、鞍山や石油化学工業が発達している。

**外国からの工業投資** 1990年代以降の中国の経済成長は、外国からの工業投資によるものが大きい。年代後半から、投資額の60～70%は製造業に集中してきている。外資系企業によるものも増加している。



## 3 経済発展をささえる農業

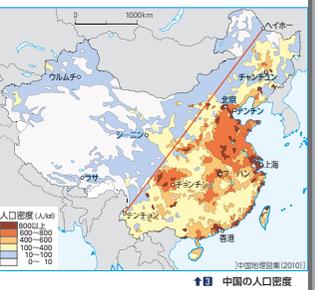
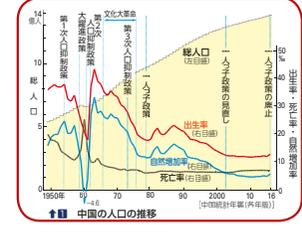
**食料生産の動向** 中国の耕地面積は、都市化や砂漠化の影響で1990年代以降、減少傾向にある。しかし、食料生産は、化学肥料

中国から日本へ輸入されている農産物を調べてみよう。



### ▼ p.192 経済発展と人口問題

## 4 経済発展と人口問題



### ▼ p.196 各地域の最後に地域特有の地球的課題を学習

#### 地球的課題

### 中国の環境問題と対策



**大気汚染の影響と対策** 中国では、エネルギーを石炭に依存する割合が高く、エネルギー消費量の約7割におよんでいる。そのため、石炭を燃料とする工場・火力発電所・家庭から排出される煤煙や、急増する自動車の排出ガスによる大気汚染が問題になっている。北京のほかにも重慶などの内陸工業都市での大気汚染は深刻で、呼吸器系疾患など、健康への被害も拡大している。また、長江以南の地域では、酸性雨による土壌の酸性化が問題になっている。さらに、中国で発生した硫酸酸化物や窒素酸化物、PM2.5などの大気汚染

をおよぼすとともに、食料生産への影響も心配されている。また、ゴビ砂漠に隣接する黄土高原の砂漠化は砂嵐(ダストストーム)をさらに深刻なものにしており、保水力の低下が黄河の治水や水利に悪影響を与えている。こうした砂漠化の防止対策として進められているのが長江計画である。東北部から内陸北部にかけての植林活動や、土壌流出の激しい傾斜地では、農耕を放棄して植林する「退耕還林」を進めたり、耕作より草地に適するところは草地に戻す「退耕還草」を進めたり、砂漠化の防止に努めている。



**巨大な人口** 現在、中国の人口は13億をこえている。これは世界最大で、世界のおよそ5人に1人が中国人ということになる。この巨大な人口は、工業生産において大量の安価な労働力などと同時に、巨大な消費市場を生み出す源にもなっている。

**人口政策の展開** 中国の人口は、中華人民共和国の成立時には、すでに5～6億に達していた(図1)。当時の中国は開発途上であり、巨大な人口は国の発展を妨げるとして、1950年代なかばからは人口抑制策が進められた。しかし、自然災害や、大躍進政策・文化大革命などの政治的混乱による食料難の時期を除いて、人口は増加し続けた。そこで1979年からは、夫婦1組に対し子どもを1人に制限する一人っ子政策がとられ、それによって出生率は低下し、人口の増加率はゆるやかに

現在、中国の人口は13億をこえている。これは世界最大で、世界のおよそ5人に1人が中国人ということになる。この巨大な人口は、工業生産において大量の安価な労働力などと同時に、巨大な消費市場を生み出す源にもなっている。

人口分布をみると、国土を二分する黒河と騰衝を結ぶ線より東側に全人口の9割以上が集中し、西側では人口密度は極端に低くなっている(図2)。東側では、特に華北・華中の平野部や四川盆地での人口密度が高く、華南の内陸部や東北部では全体的に低くなっている。また、外国に移住した人々も多く、華僑や華人とよばれ、東南アジアを中心に約4000万人にのぼっている。

一人っ子政策の対象は漢族で、少数民族は適用外とした。農村部では第一子が女子の場合に間隔を置いて第二子を産んでもよいとしたりする例外規定があった。

一人っ子政策の導入

夫婦1組に対し子どもを1人に制限する一人っ子政策がとられ、それによって出生率は低下し、人口の増加率はゆるやかに

しかし、弊害として子どもの過保護が社会問題になったほか、農村では後継者として男子を重視したため、男子の出生数が女子の出生数を大きく上回り、結婚難も起きた。人口の高齢化や労働力の減少に対応するため、2002年からは双方とも一人っ子の夫婦に、2016年からはすべての夫婦に2人目の出産を認め、一人っ子政策は廃止された。

## 2章5節 西アジア・中央アジア

西・中央アジアの学習は、歴史的背景、自然、産業、文化…、項目ごとに整理して考察します。

項目ごとに順を追って整理

- 位置と歴史的背景
- 自然環境
- 農牧業
- 鉱工業とサービス業
- イスラム教と人々の生活
- 民族紛争の歴史と課題

位置・歴史的背景・  
自然環境で地域を大観

その地域で行われる  
産業や人々の生活を理解

その地域のかかえる  
地球的課題を考察

本書の「項目ごとに整理する」地域

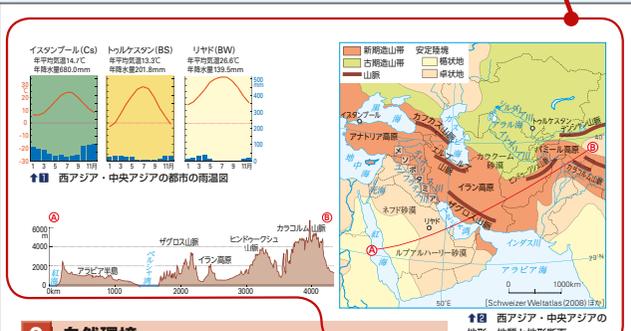
- 東南アジア
- 西アジア・中央アジア
- アフリカ
- アメリカ

各地域冒頭の自然環境では、地形の図と断面図、雨温図により、自然を大観できます。



↑ピクニックをする家族でにぎわう(イラン・テヘラン、2011年撮影)  
イランでは日常的にピクニックを楽しむ。

↓西アジア・中央アジアの範囲  
アフガニスタンについては、南アジアに区分される場合もある。



### 第5節 西アジア・中央アジア —項目ごとに整理する

#### 1 位置と歴史的背景

**位置と国々** 西アジアとは、アフガニスタンから地中海までの地域をいい、その北側、カフカス諸国からパミール高原天山山脈にかけての地域を中央アジアとよんでいる(図1)。面積では約270万km<sup>2</sup>のカザフスタンが最大で、約220万km<sup>2</sup>のサウジアラビアが2番目に大きい。人口ではイランとトルコが約800万と多く、300万台のイラク、アフガニスタンが続く。砂漠や山岳地域が多いため、アジア・中央アジアの人口密度は約38人/km<sup>2</sup>と低いが、人口増加率全体的に高い水準で、今後も人口の増加が予測されている。

**文明の十字路** 西アジアには、まずメソポタミア文明が栄え、その後も中央アジアのシルクロードを通じて、中国、インド、エジプト、ギリシャ、ローマを結ぶ東西文明の十字路の役割を果たした。ユア教やキリスト教が誕生したのも西アジアであり、7世紀にはイスラム教も生まれた。イスラム教は8世紀には西アジアから北アフリカにかけて勢力をのぼし、イスラム帝国やオスマン帝国などの大帝國がつくられ、中央アジアや東南アジアにまで広がった。

西アジアの国々は、19世紀末頃からはイギリスやフランスなどの統領・保護国として政治・経済的に支配され、独立後も、石油資源は欧企業に独占されたままの状態が続いた。また、中央アジアの国々は1990年代から30年代にかけてソ連の構成国となり、1991年にはソ連の崩壊

#### 2 自然環境

**地形** アラビア半島は安定陸塊で、紅海側が高く、ペルシヤ湾側に向かって低くなる(図2)。半島北部には、ティグリス川とユーフラテス川がつくった肥沃な沖積平野が広がる。半島をのせるアラビアプレートは、北側のユーラシアプレートに衝突し、トルコからアフガニスタンにかけての高原や険しい山脈をつくり、地震を頻発させている。ペルシヤ湾周辺には、古生代から中生代にかけての広い海域にたまった厚さ数千mの地層がある。そのなかに、微生物の遺骸が蓄積した層と、そこから生じた石油を閉じ込める層の両者が分布するため、ペルシヤ湾岸は世界の中でも特に石油の埋蔵量が多い。

中央アジア北部は、標高-28mのカスピ海から東側に向かって高くなり、インド半島の衝突によって隆起したパミール高原や天山山脈に至る。カスピ海沿岸にも油田が多い。

**気候** 西アジアと中央アジアは、ともに乾燥地域となっている。アラビア半島は亜熱帯高圧帯にあって、大部分が砂漠である。イラン北部は内陸にあり海から湿った風が入りにくく、山脈の風下でもあるため乾燥していて、カヴィール砂漠やトルクメニスタンのカラクム砂漠など広大な砂漠が続いている。カザフスタン北部はステップ気候で、肥沃なチェルノゼムが分布するカザフステップとよばれる草原が広がっている。また、地中海沿岸からカスピ海南部、天山山脈北麓にかけては、地中海性気候が帯状に続いている。

乾燥地域には流出河川のない死海のような塩湖が多い(写真3)。また、アラビア半島には多くのワジ(濡れ川)があり、ラクダの隊商の移動や自動車の道路として利用されている。

↑アラビアプレート 紅海とペルシヤ湾に挟まれるプレートという。

↑カスピ海 世界最大の湖で、面積約37万km<sup>2</sup>、周囲6000km、南北幅約1200km。最大水深は1025mで、南に向かって深くなっている。北西部は低平で、ゾロガリ川などの三角洲が発達する。南岸にラムサル系約が顕在したラムサルがある。

↑塩湖の死海(ヨルダン、2008年撮影) 塩分濃度は海水の4-6倍にあたる20~25%を示す。ヨルダン地溝帯にあり、標高-400mに位置する。

年	事項
1901	イギリスがイラン南部の石油探査権を獲得
1945	アラブ連盟が結成
1948	イスラエルが建国宣言 第1次中東戦争でパレスチナ難民が出現
1960	石油輸出国機構が結成
1973	第1次石油危機
1979	イラン革命 第2次石油危機
1980	イラン-イラク戦争開始
1991	湾岸戦争 ソ連解体で中央アジア諸国が独立
2001	9.11同時多発テロ事件(アメリカ)
2003	イラク戦争開始
2011	アラブの春 シリア内戦始まる

↑西アジア・中央アジアの

西アジア・中央アジアの位置関係と、シルクロードやイスラム教国家としての歴史を理解させます。

地形・気候の特徴を、資源や土壌とも関連させながら整理します。



↑↑ カナートの上空写真とその構造(イラン・イスファハーン近郊、1990年撮影) 水の蒸発を防ぐため、はしめに掘穴を掘り、その隙をゆるやかな傾斜をもった掘穴で結んだ地下水路。出資者である地主が、水の所有者であることが多い。

### 3 農牧業

**伝統的灌漑農業** 乾燥地域が広がる西アジア、北アフリカ、中央アジアなどでは、山岳地帯に水源をもち、山麓に灌漑施設を築き、水不足のために農業が盛んな地域がある(写真②)。自然の恵みを生かしながら飼育している。

● **外來河川** 乾燥地域を流れる河川で、水源を上流の降水量の多い地域にもつ川をいう。ナイル川やユーフラテス川が代表的である。

● **遊牧民の移動式住居**は、中央アジアではコルト、モンゴルではゲル、中国ではパオとよばれる。



● **オアシスでのなつめやし栽培**(イスラエル、2010年撮影) なつめやしの実は、乾かして食べたり、ピタミツ豚の飼料源となる。

230 | 第2章 現代世界の諸地域

### ▲ p.230 農牧業

西・中央アジアのもつ特徴的な項目「文明の十字路となった歴史」「乾燥地帯」「オアシス農業・灌漑農業」「石油の埋蔵地域」「イスラム教」「民族紛争」について順を追って、それぞれを関連づけながら学習します。

### ▼ p.233 鉱工業とサービス業



↑↑ ドバイのバームジュメイラ(アラブ首長国連邦、2010年撮影) ドバイ西部のジュメイラ地区に建設されたやしの木のような形のリゾート用的人工島。ドバイでは、800mを越す超層ビルや人工スキー場など、観光開発が進められている。ドバイ空港は中東地域のハブ空港となっている。



↑↑ 湾岸諸国のGDP(国内総生産)に占める石油収入の割合

**石油輸出依存経済からの転換** 湾岸諸国では、二度の石油危機以来、オイルマネーを使って、運輸・通信・道路・港湾などの社会基盤を整備してきた。しかし、石油に頼るだけのモノカルチャー経済では、国の経済は原油価格の変動に左右されてしまうことや、出生率の高さが生産年齢人口の増加を生んでいること、また、石油の枯渇も予測されることから、石油依存経済からの脱却の

ため、祭事や祝い事など特別な料となる薪炭が得られないため、家畜の毛や皮は衣服や住居のテント

遊牧民は、オアシスに開けた町を、なつめやしに交換するなど、遊牧にも自動車が使われたり、新しい仕事に就くことも多くなっ

た。アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

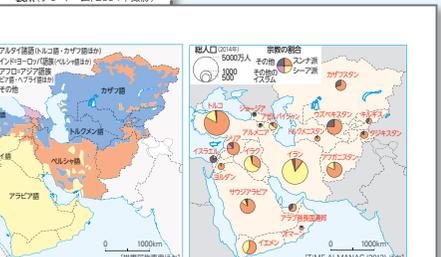
アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

アラブ首長国連邦では、石油産出量が建設され、産業の多角化が進められ

ないドバイには自由貿易地域を設け輸・物流の拠点をめざしている(写真⑤)。

### ▼ p.234 イスラム教と人々の生活



↑↑ 西アジア・中央アジアの言語 西アジア・中央アジアのおもな言語は、アラビア語(アフロアジア語族)、ペルシア語(インドヨーロッパ語族)、トルコ語(アルタイ語族)である(図②)。アラビア語は、もともとはアラビア半島の地域言語で、イスラム教の拡大とともにイラクから北アフリカにまで広がった。また、ペルシア語はイランで、アルタイ語族はトルコや中央アジア諸国で話されている。このほか、イスラエルではユダヤ人の間でヘブライ語が使われている。

### 5 イスラム教と人々の生活

● **ユダヤ教** 一神教であり、ヤハワを絶対神とする。自身が神により選ばれた民であるという选民思想や救世主待望などを基本とする。

● **信仰告白** 「アッラーのほかには神はなく、ムハンマドはアッラーの使徒である」と祈る。イスラム教は、神・天使・啓示・預言者・来世・天命といった六つの信条をもつ(六信)がある。なお、イスラム教では、モーセやイエスも重要な預言者である。

西アジア・中央アジアでは、イスラム教が広く信仰されているが、イスラエルではユダヤ教が、カフカス地方ではキリスト教(東方正教)が多い。イスラム教は、多数を占めるスンナ派(スンニ派)と少数のシーア派に分かれる。イランやイラク南部、アゼルバイジャン南部ではシーア派が多く、そのほかの国ではスンナ派の割合が高くなっている(図③)。

**イスラム教と人々の生活** イスラム教は西アジア・中央アジアの人々の行動や生活に大きな影響を及ぼしている。コーランは、預言者ムハンマド(マホメット)が啓示を受けてアッラーの言葉をまとめた教典で、アラビア語で書かれたものだけがコーランとして認められている。アッラーは唯一の神で、宇宙の創造者であり、目には見えないとしているため、偶像を崇拝することは禁じられている。また、イスラム教の義務として、**信仰告白**や、1日5回のメッカに向かったの礼拝、貧しい人に施しをする**喜捨**、日の出から日没までいっさい飲食をしない**イスラム暦の9月の断食月(ラマダーン)**、12月のメッカ(カーバ神殿)への**巡礼**の五つを、**五行**として守ることが求められる。さらに、酒・豚肉の飲食禁止や、食事は不浄な手とされる左手は使わず、女性は屋外では肌を見せないなど、日常生活にもきびしい戒律がある。

● **イスラム復興運動** 多くのイスラム教団では、イスラム教の復興を主張するイスラム復興運動が活発化している。宗教を原動力とする運動は、ほかの宗教でもみられるが、中東では経済の急激な発展や政治的腐敗などに対する抗議の活動と結びつき、イスラム教の復興運動が活発化している。

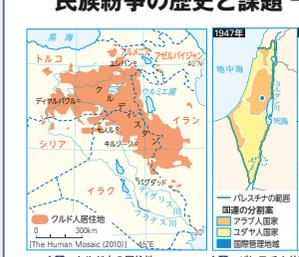
一方、イスラム原理主義をよびよれる過激派勢力も増えている。シリアやイラクは、政府と過激派組織との対立が激化し、大規模な内戦が起きている。国際問題となっている。

おさまっている。現在、イスラエル側の和平推進派と対パレスチナ強硬派、パレスチナ側の穏健派ファタハと過激派ハマスが、路線をめぐって対立している。国内にユダヤ人を多くかかえるアメリカが仲介役となり、和解決の道を模索している。

### ▼ p.235 パレスチナ紛争とクルド人

#### 地球的課題

#### 民族紛争の歴史と課題 —パレスチナ紛争とクルド人を例に



↑↑ クルド人の居住地 ↑↑ パレスチナ分割の推移

ユダヤ人とアラブ人との対立 パレスチナ紛争(アラブ=イスラエル紛争)の歴史は古く、ユダヤ人が紀元前1500年頃にパレスチナに定住し、国家をつくった頃にはさかのぼる。その後、ユダヤ人国家が滅亡し、ユダヤ人は世界中に散居した(ディアスポラ)。19世紀後半には、パレスチナに再びユダヤ人国家建設をめざすシオニズム運動が活発になり、パレスチナに入植するユダヤ人が増加した。こうしたなか、第1次世界大戦中に、イギリスはアラブ人・ユダヤ人双方の協力を得ようと、アラブ人にはトルコからの独立を、ユダヤ人にはユダヤ人国家建設を約束した(バルフォア宣言)。この二重外交の結果、互いの

1917 イギリスがユダヤ人国家建設を承認(ワシントン宣言)

1947 国連会議でパレスチナの分割案を採択

1948 イスラエル独立宣言。第1次中東戦争開始

1967 パレスチナ解放戦線(PLO)が結成

第3次中東戦争でイスラエルが大勝

1967 ガザ地区を中心にイスラエル領(インティファダ)拡大

1993 パレスチナ暫定自治を合意(1997年に中断)

2006 パレスチナの国連加盟(オブザーバー)承認

2012 パレスチナの国連加盟(オブザーバー)承認

2014 イスラエルとハマスの衝突が激化

↑↑ パレスチナ紛争の経緯

234 | 第2章 現代世界の諸地域

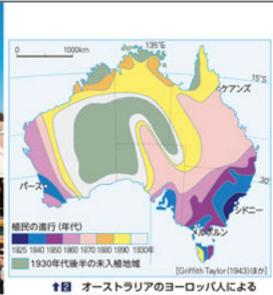
## 2章 12節 オーストラリアとカナダ

そのほかの本書の比較して考察する地域  
ドイツとポーランド  
…東西ヨーロッパの境界となった相違点に着目

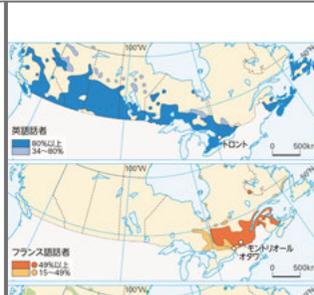
左頁にオーストラリア、右頁にカナダをおき、項目ごとに両国を比較しながら学習を進めます。



11 人々が集まるオペラハウス周辺の遊歩道 (オーストラリア・シドニー、2014年撮影)



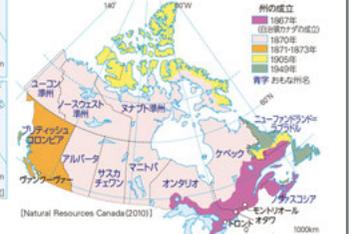
10 オーストラリアのヨーロッパ人による植民と土地開発の進展



10 カナダにおける英語話者・フランス話者と先住民の分布



11 フランス風の明るい色彩の街並み (ケベック州、2011年撮影)



10 カナダのヨーロッパ人による植民と土地開発の進展

### 第12節 オーストラリアとカナダ 一国を比較する

オーストラリアとカナダは、赤道を挟んで遠く離れているが、ともに環太平洋に位置し、現在は日本との経済的な結びつきが強い。さまざまな視点から両国を比較して、それぞれの特徴を考えてみよう。

● 白人主義 白人種のみがオーストラリアの国民となり、国家建設を行うとする政策をいう。

年	事項
1642	タスマン、オーストラリア南東のタスマニア島到達
1788	イギリスの植民開始
1868	流刑植民地の廃止
1901	オーストラリアの成立 白人主義の開始
1911	オーストラリアの首都をキャンベラに決定
1931	オーストラリアが英連邦の一員に
1956	オリンピックをメルボルンで開催
1975	人種差別禁止法成立 (白人主義の廃止)
1986	オーストラリア法成立 (オーストラリアの主権と独立を確立)
2000	オリンピックをシドニーで開催

10 オーストラリアの歩み

#### 1 ヨーロッパ人の植民と土地開発

オーストラリア大陸の存在は、1770年のクックの探検でヨーロッパの人々に知られるようになった。その後、イギリスは、流刑囚の移民先として、シドニーのポートジャクソン湾周辺から植民を開始した。土地の開発は、東海岸南部の温暖湿潤な海岸平野から、内陸部の半乾燥地帯へ進んでいった。南部で金鉱が発見されると、ゴールドラッシュが起こり移民は急増した。イギリス系の人々が多く植民するようになると、先住民のアボリジニーは内陸へと追いやられた。白人との衝突や免疫のない病気の流行などによって、30万以上あった人口は19世紀末までに約6万に減少した。

#### 10 |ポイン|補説 オーストラリアとカナダの多文化社会

白人だけのオーストラリアを維持しようとする白人主義は、1975年に撤廃され、多文化主義がとられるようになった。現在の移民政策でも、民族・人種や出身国などによる制約がなくなり、積極的な難民受け入れも進められている。アジア諸国からの移民が増え、その数は移民総数の20%をこえるまでになった。こうしたなか、各地でのヨーロッパ系移民とアジア系移民の住み分けは、新たな課題を生み出している。アジア系移民の多くは海岸部の大都市や近郊にまとまって居住することが多く、都市ではキリスト教徒の人口は約70%に低下し、イスラム教徒・仏教徒・ヒンドゥー教徒が増加している。

カナダでは17世紀以降、ヨーロッパからアジアへの航路の探索や、たら漁や毛皮の交易のために、ヨーロッパ人が居住するようになった。特に、イギリス系の人々はハドソン湾やニューファンドランド島周辺の海岸部に、フランス系の人々はセントローレンス川をさかのぼって入植し、東海岸から五大湖周辺が開発された。18世紀になるとイギリスの勢力が急速に強くなり、フランス領(ケベック州)はイギリス領となった。しかし、フランス系住民のフランスへの帰属意識は強く、現在もケベック州はフランス語を公用語としているほか、カナダからの分離・独立を求める動きも続いている。

#### 10 カナダの多文化社会への挑戦

カナダにはイギリスとフランスが競って植民したことから、建国以来、イギリス人とフランス人の対立が絶えず、現在もイギリス系カナダとフランス系カナダという二つの社会に大きく分かれている。そのため、公用語を英語とフランス語の二本立てにしたり、州の権限を優先する連邦制を採用するなど、二つの文化の違いを克服する努力を続けてきた。しかし、住民の約60%をフランス系が占めるケベック州では、経済的に優位にあるイギリス系住民への反感もあって、フランス系住民のアイデンティティ(帰属意識)として民族自覚を尊重しようとするケベックナショナリズムが根強く残っている。ケベック州は「独立か、連邦に帰属か」の選択が潜在的な課題の一つになっている。

● ケベックナショナリズム ケベック州がフランス系であることを尊重するため、フランス語だけを公用語にしていることなどをいう。

年	事項
1583	ニューファンドランド島がイギリス最初の海外植民地に
1605	ケベックコリアにフランス植民地の建設
1763	パリ条約によりフランス植民地を英国へ分与
1846	イギリス領北アメリカとアメリカとの境界を北緯49度線に決定
1867	自治領カナダの成立
1926	外交権が認められ主権国家としての地位を獲得
1949	NATO加盟、国名から自由
1971	多文化宣言を行い二言語・多文化主義を採用
1982	カナダ憲法の公布により完全な立憲国家に
1999	ケベック州の独立が住民投票により否決
2010	冬季オリンピックをヴァンクーヴァーで開催

10 カナダの歩み

▲ p.296-297



### オーストラリアとカナダの共通性・異質性

	共通性	異質性
自然環境	広い土地基盤, 広い平原の存在	植生や人間活動が、降水量により制約されるか、気温によって制約されるか
歴史・文化環境	イギリスを中心とする植民と土地開発, 多文化社会の形成, アジアに隣接	フランスとの関係, アメリカに隣接
社会・経済環境	規模の経済を利用した産業発展 農産物や原材料の輸出が中心の経済構造	森林資源の有無, アジアやアメリカとの相対的な近接性と結びつきの強さ
日本との関係	1次産品の輸入, 工業製品の輸出	アジアと環太平洋諸国, 距離的な近接性

## 3章 現代世界と日本

### 地球規模の視野でとらえたときに見えてくる 日本の課題について考察

p.306-309

自然の恵みと脅威が  
共存する環境



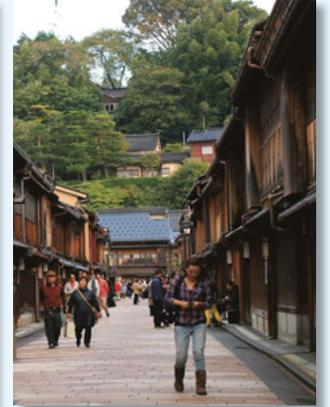
輸入に依存する日本  
輸出に依存する日本



人口減少時代の居住問題  
住民参加型の地域づくり



グローバル化時代を生きる  
伝統文化の継承 / 多文化共生



■ 持続可能な社会に向けて 本教科書の最終章、地理の学習の総まとめとして、日本の特色や課題を客観的に整理し、今後のあるべき国土像について考察させます。



教授資料付録  
DVD-ROM

## 課題解決型ワークシート

### Step1

世界のなかの日本 食料の安定的な確保と日本の農業の育成を考える

私たちが日常生活を送るために、毎日の食事は欠かせない。しかし、現在、日本は食料の半分以上を輸入に頼っており、食料自給率は先進国のなかでも最低水準となっている。将来にも安定して食料を確保していくためには、どのような課題があるだろうか。

Step1 私たちが食べているものは、どこの国、地域でつくられているのか？

実際、毎日の食事は、国産の食材や輸入の食材がどくらくい使われているのだろうか。レストランでよく見られるメニューを例に、それぞれの食材の自給率がどくらくいかをみてみよう。

ハンバーグ		サラダ		ライス		シーフードパグティ	
牛肉	豚肉	じゃがいも	にんじん	米	えび	トマト	たまねぎ
鶏肉	鶏肉	ブロッコリー	ブロッコリー	米	えび	トマト	たまねぎ
					小麦		

自給率	自給率	自給率	自給率
米 99	牛肉 42 (12)	えび 4	たまねぎ 76
小麦 15	豚肉 51 (9)	砂糖 31	にんじん 69
大豆 29	鶏肉 67 (9)	油類類 13	トマト 46
じゃがいも 55	卵 95 (13)	乳製品 63 (28)	ブロッコリー 65

資料 おもな食品の自給率 (農林水産省「ワケン自給率」(2017.1.)、食料自給率(2016))

上表は、各品目の生産ベースで示した自給率で、生産物の( )の値は、その家畜の飼育に必要な飼料を考慮した値である。日本は外国産の安い飼料(大豆、とうもろこしなど)にたよっているため、飼料を含めると自給率が大きく下がる。食料全体についての自給率には、熱量で換算するカロリーベースと、金額で換算する生産額ベースの二つがある。日本の食料自給率はカロリーベースでは4割を下回り、生産額ベースで最低水準となる一方、生産額ベースでは約6割となる。カロリーベースでは、カロリーの高い鶏卵や油類は外国産が多いため(飼料も含め)、自給率が低く計算される。一方、生産額ベースでは、カロリーベースの影響力は低い(国産の割合が高い野菜や魚介類などが評価されるため、全体の自給率も高くなる)。

- 発展
- ① 自分で自分の食事についても考え、輸入した食材はどこからが多いか調べてみよう。
  - ② 自給率の低い食材には、どのような特徴があるだろうか。
  - ③ 生産額ベースの自給率が、カロリーベースの自給率より高くなるのはなぜだろうか。

## 食料の安定確保と日本の農業の育成を Step で考えさせるワークシートを用意しました。

### Step3

Step3 食料自給率が低いとどんな問題が起きるか？

日本の食料自給率は、先進国のなかでも低くもなっている。食料自給率が低いとどのような問題が起きるのかについて、その背景とともに考えてみよう。

### Step4

Step4 食料の安定確保の方向性と、農業関連ビジネスの起業について考えてみよう

背景 Step1 を通じて、食料自給率の現状や課題の背景について考えてきた。今後も食料を安定確保していくには、農業関連の分野での国の政策をどのようにしていかしていくだろうか。次の二つの視点について、あなたの考えをまとめてみよう。

**農産物の輸入の自由化** 農産物の輸入の自由化をさらに進め、消費者が価格の安い食料が手に入るようになることもよい。貿易交渉を自由化するにより、日本は工業製品の輸出を伸ばすことができる。それ以外の国が農産物の輸出品目を輸出する国は多い。国に利益をもたらす産業の発展につながるため、農産品は特別に保護する必要がある。これまで日本は農産品に対して保護政策をとってきたため、農産品の国際競争力は向上せず、世界で負けてしまった。

**食料自給率の低下** 食料自給率の低下は、食料の安定確保の観点から、食料の供給が不安定になる。食料自給率の低下は、食料の安定確保の観点から、食料の供給が不安定になる。食料自給率の低下は、食料の安定確保の観点から、食料の供給が不安定になる。

### Step2

Step2 日本の食生活の変化は、自給率にどう影響してきたか？

日本人の食生活は大きく変わってきた。食生活の変化は、食料自給率にどのような影響を与えてきたのだろうか。食生活の変化は、食料自給率にどのような影響を与えてきたのだろうか。食生活の変化は、食料自給率にどのような影響を与えてきたのだろうか。



食料の種類	自給率
小麦	15%
大豆	29%
鶏肉	67%
豚肉	51%
牛肉	42%
米	99%
えび	4%
たまねぎ	76%
にんじん	69%
トマト	46%
ブロッコリー	65%

- Step1 日本の食料自給率の現状を把握
- Step2 食料自給率が低い背景を考察
- Step3 自給率が低いと何が問題か
- Step4 食料の安定確保について考える 農業関連ビジネスの起業の提案



## 地理的技術コラム

◀ p.55

- 世界地図の「読み方」
- 時差とサマータイムの計算
- 統計地図の見方・あらわし方
- GISを使って地図をつくろう
- 電子地図の活用
- 地形図の読み方
- 地形図を読む
- ハザードマップを読む
- 気候区の判定
- 雨温図とハイサーグラフ

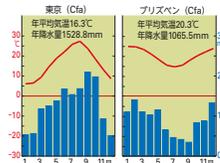
### 地理的技術 ハザードマップを読む



津波被害を想定したハザードマップから、砂嘴のつくる湾への被害や避難路について、考察させます。

◀ p.66

### 地理的技術 雨温図とハイサーグラフ



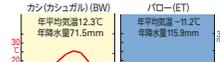
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全年
気温(℃)	6.1	6.5	9.4	14.6	18.9	22.1	25.8	27.4	23.8	18.5	13.3	8.7	16.3
降水量(mm)	52.3	56.1	117.5	124.5	137.8	167.7	153.5	168.2	209.9	197.8	92.5	51.0	1528.8
気温(℃)	25.0	24.8	23.5	21.1	18.3	15.6	14.8	15.6	18.2	20.5	22.3	24.0	20.3
降水量(mm)	109.4	139.8	109.7	102.1	115.3	64.7	45.0	41.2	31.7	83.3	87.0	32.0	1065.5

↑東京(上)とリスベン(下)の気候値

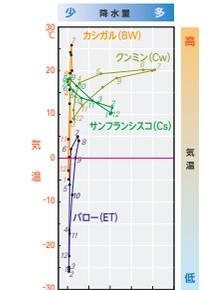
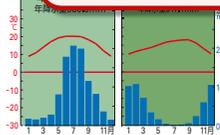
#### 雨温図の作り方・読み方

雨温図は横軸に月を、縦軸の左右に気温の変化を折れ線グラフで、月降水量を棒グラフで表す。北半球は① 気温の折れ線グラフは、北半球は② 気温の折れ線グラフの形が山型が多。年较差が小さく、特に熱帯(A)に多い。③ 降水量と気温のピークが一致する(w)。その反対は冬雨型(s)、季節

統計資料の気候表を利用し、比較してみたい2地点を選び、雨温図やハイサーグラフを作成してみよう。



冬雨型・夏雨型・年中降雨型の判断など、雨温図とハイサーグラフの読図のコツをまとめました。

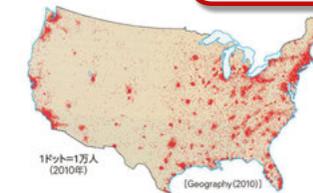


↑雨温図とハイサーグラフ

### 地理的技術 統計地図の見方・あらわし方

アメリカの人口分布や人口構成を題材に次のテーマで地理情報を集めてみた。これまで学習した統計地図のどれかを利用すればよいかを

アメリカについて、さまざまな統計地図を集め、表現の特徴と、どんな統計に適合しているかをまとめました。



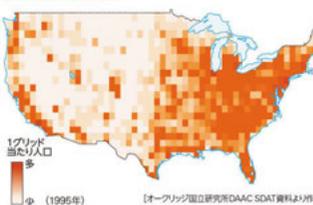
ドットマップ ①人口分布

1ドット1万人として人口の分布を表現した。ドットマップは、ドットの大きさや位置により印象の異なる地図になる。たとえば、人口分布図では、1点の人口を何人かに設定し、点を書き込む際には周辺の地形や都市の位置をどう考慮するかなど、工夫が必要である。



②は、人工衛星からみた夜のアメリカの合成画像である。明るいところは人口が密な都市部にあり、暗いところは人口が希薄な乾燥地域や農業地域であり、①のドットマップとよく一致している。

メッシュマップ ③人口分布



等値線図 ④年降水量



全 18 テーマ、全 25 ページ

- 写真で読む自然環境
  - 世界一流量の多いアマゾン川
- 農産物の生産・輸出を読む
- 分布から工業の立地角を読む
- 三角グラフと散布図を読む
- 新旧地形図で読む村落の都市化
- 地形図で読む村落の機能と形態
- 住居の写真から読む自然環境
- 地域の将来像を描く
  - 津波に備えた地域づくり

### 地理的技能 写真で読む自然環境 — 世界一流量の多いアマゾン川

↑ アマゾン川上流部のウカヤリ川と小支流 (1981年撮影)

↑ 中流部のアマゾン川(パリンチンス, 2005年3月撮影)

### 地理的技能 農産物の生産・輸出を読む

世界の農業のまとめとして、農産物の生産や輸出の統計値から、どの国に相当するかを考察させます。

	中国	タイ	アメリカ	カナダ	ブラジル	オーストラリア
第1次産業従事者率(%)	1.5	2.3	18.3	3.3	39.6	42.5
農業従事者1人当たり農地面積(ha)	163.8	190.6	24.7	872.2	1.0	1.1
耕地率(%)	17.8	5.3	9.2	5.6	13.5	39.7
牧場・牧草地率(%)	27.2	1.6	23.2	46.3	42.1	1.6
米	生産量 839	—	1 348	72	20 267	3 459
	輸出量 317	—	1 229	28	49	1 067
小麦	生産量 5 441	2 526	569	2 741	11 741	0
	輸出量 3 279	1 634	235	1 766	4	0
とうもろこし	生産量 31 395	1 069	5 566	36	19 290	482
	輸出量 4 589	1 067	949	4	14	39
コーヒー	生産量 —	—	270	—	7	4
	輸出量 6	1	179	—	7	4

↑ 低水期の氾濫原の高床式住居(マナウス, 2008年12月撮影)

↑ 浸水を始めた氾濫原の牧場(パリンチンス, 2005年3月撮影)

アマゾン川流域の雨季・乾季をあらわす写真から、自然環境の特徴を読み取ります。

### 地理的技能 三角グラフと散布図を読む

産業別人口構成の変化  
三角グラフでは、三つの辺に示された数値からのびる線と線の交点を読みとるようになる。

時間の経過とともに、第1次産業が減り、第2次産業へ、さらに第3次産業へと移っていることが読みとれる。

第1次産業	農業、林業、水産業
第2次産業	鉱業、製造業、水道業、建設業、電気・ガス供給業など
第3次産業	商業、運輸業、観光業、金融業、不動産業、公務、教育業、保健衛生業、その他のサービス業など

↑ 産業の種類

↑ 人口とコンビニ事業所数

▲ p.99

三角グラフでは産業別人口を、散布図ではドットの分布から、複数の事象の関連性を読み取ります。人口とコンビニの数や、地域の商品購入の傾向など、さまざまな分析に利用できます。

# 新しい図式とともに、地形図の読み方・使い方を学びます

地理院地図や、地形図の新しい図式や表現方法を紹介しています。

## 地理的技術 地形図の読み方

**新旧の図式の変更点を紹介**

● 市役所	● 博物館・美術館	× 探鉱地	▽ グム
● 庁舎	● 温泉・鉱泉	△ 噴火口・噴気口	▽ 水門
● 老人ホーム	● 社	□ 油井・ガス井	▽ せき
● 病院	● 記念碑	○ 煙突	▽ 滝
● 保健所	● 城跡	○ 電波塔	▽ 雨裂
● 警察署	△ 史跡・名勝・天然記念物	○ 灯台	▽ 土がけ
● 交番	△ 墓地	▽ 重要港	▽ 港
● 郵便局	● 発電所	▽ 地方港	▽ 漁港
● 小・中学校	● 工場		
● 高等学校			

4車線以上  
2車線 幅員13m以上  
1車線道路  
軽便車道  
徒歩道

高速道路  
国道(番号)  
都道府県道  
有料道路  
離道  
石段

△ 50.6 三角点  
○ 21.7 水準点

● 市界  
● 郡界  
● 町界  
● 村界  
● 所属界  
● 特定地区界  
● 変種以上

● 建築物  
● 無蓋倉庫(温室等)  
● 果樹園  
● 茶畑  
● 桑畑  
● 雑地  
● 荒地  
● 森林地  
● 水田  
● 畑地  
● 牧草地  
● 公園  
● 緑地  
● 特殊緑地

● 地下の鉄道  
● 路面の鉄道  
● 特殊鉄道

【平成14年・平成25年改訂】

地形図に用いられるおもな地図記号(図中の○は平成25年の図式の改訂時に変更・廃止された)

5万分の1	2万5000分の1	線の表現
計曲線 100m間隔	50m間隔	—
主曲線 20m間隔	10m間隔	—
第1次補助曲線 10m間隔	5m間隔	—
第2次補助曲線 5m間隔	2.5m間隔	—
	(数値を表示)	—

● 等高線の種類

● 等高線による起伏の読み方 新しい図式では地形の根柢・谷など、地形の概観がわかりやすくなった。

**地図記号を読む** 地形図の情報は読む第一歩になる。地図記号は、社会生活に欠かせない。風車や老人ホームの地図記号は、電子国土基本図の整備により、印刷図式(地図表現の規定)での刊行が廃止され、地図記号の色が変更された。

▲ p.24

2012年の電子地形図25000の販売開始に伴い、紙の2万5000分の1地形図の改訂も進んでいます。地形図の起伏や地図記号の色の表現、記号の廃止など、変更点や注意点について解説します。

## 地理的技術 電子地図の活用

地理院地図を利用する

地理院地図のウェブサイト(図1)では、画面上で地図を自由にスクロールしたり、縮尺を設定したりできる。さらに、年代別や災害関連の空中写真や、標高別に塗り分けた地図、単色地図や白地図など、同じ範囲を重ね合わせることで、さまざまな角度から分析できる。また、距離・面積の計測や、図形の書き込み、経緯度の表示なども簡単に行える。

電子地形図25000を利用する

電子地形図25000は、印刷物として販売されてきた従来の地形図と異なり、インターネットを通じて、地形図の大きさや範囲、道路や建物の配色、カラーがモノクロかなどを自由に選択して、画像データとして購入できる。地図表現が多色化され、地形の起伏に陰影を加えた立体表示や地図記号の変更(p.24図1)など、大きく改訂されている。

電子地形図25000のおもな変更点

図1の従来の地形図と電子地形図25000を見比べて、実際の地図表現がどのように変わっているかを確認してみよう。

提供方法

作成方法

① 多色版 建築物をオレンジ、高速道路を緑など多彩な表現が可能。  
② 地形に陰影がつけられ、尾根や谷を判別しやすくなる。  
③ 画像データで販売。インターネットやDVDの送付を通じて提供。  
④ オンデマンド販売 購入者が図の範囲や道路の色などを設定。  
⑤ 電子国土基本図をもとに作成。更新対応が早い。  
⑥ 都市計画区域は1/2500の精度になり、建物や道路がより詳細に。

地理院地図の使い方を紹介

地理院地図のウェブサイト(<http://maps.gsi.go.jp/>)

① 初期画面の日本全国から、検索機能を使い、自宅や学校周辺の地名を入力し、身近な地域の地図を表示してみる。  
② 地図の縮尺を変えて拡大・縮小したり、移動したりして、縦横自由な表示で地図を体験してみる。  
③ 地図を写真に切り替えてみる。  
④ 作図機能を使って、自宅や最寄り駅から学校までの通学路を描いてみる。さらに、計測機能を使い、描いた通学路の距離を求めてみる。

図1の従来の地形図と電子地形図25000を見比べて、実際の地図表現がどのように変わっているかを確認してみよう。

図2の従来の地形図と電子地形図25000を見比べて、実際の地図表現がどのように変わっているかを確認してみよう。

図2の従来の地形図と電子地形図25000を見比べて、実際の地図表現がどのように変わっているかを確認してみよう。

図3の従来の地形図と電子地形図25000を見比べて、実際の地図表現がどのように変わっているかを確認してみよう。

● 瀬戸内海に面する城下町の香川丸亀市

上の地形図から、次のことを読みとってみよう。

**地図記号** 赤色の①地区に見られる地図記号は次のどれに当たるか。これらが集中する②地区は、どのようなところか。  
→ 市役所 / 税務署 / 消防署 / 警察署 / 裁判所 / 高等学校 / 小・中学校 / 郵便局 / 神社

**等高線** 青ノ山山頂と③地点の神社間の水平距離と標高差から、平均勾配を求めよう。  
ヒント: 平均勾配 = 標高差 ÷ 水平距離

**土地利用** 青ノ山のふもとに離農池などの池はどのような役割を果たしているかと推察できるか。

**地名** 城跡があることから城下町とみられるが、それに由来する地名をさがそう。西隣の「塩屋町」の地名から、どのような産業が行われてきたと考えられるか。

電子地形図25000での丸亀市中心部(図4の○範囲)新しい図式では、都市計画区域が2500分の1の精度で細かく描かれるようになった。市街地に密集する建物群も、実態に合わせて精密に表現されている。

▲ p.23

▲ p.25

旧図式の地形図と電子地形図25000の表現を比較



地形図読図ワーク

教科書掲載の地形図について、生徒の作業用に配布できるワークシートを用意しました。解答編には、地理院地図の色別標高図や衛星画像、旧版地形図など、生徒の気づきを促す資料を充実させています。

地形 ワークシート 全5テーマ

**河岸段丘**  
(群馬県沼田市)

年 月 日 名前: \_\_\_\_\_

作業

- ① 片品川(地点E)と上位の段丘面(地点F)の標高差を調べてみよう。
- ② 片品川横より上流側について、片品川沿いのおもな段丘崖を線で着色してみよう。
- ③ 図のE-Bに沿って、Cの周辺、片品川の両岸、Dの周辺、それぞれの土地利用をあげてみよう。

E周辺: \_\_\_\_\_ 片品川の両岸: \_\_\_\_\_ D周辺: \_\_\_\_\_

- ④ Cは、この地形を利用した発電所である。何の力を利用してしているかを考えてみよう。

**河岸段丘**  
(群馬県沼田市)

解答

色塗りの解答

資料

河岸段丘  
(群馬県沼田市)

色別標高図で外形の確認

作業

- ① 片品川(地点E)と上位の段丘面(地点F)の標高差を調べてみよう。
- ② 片品川横より上流側について、片品川沿いのおもな段丘崖を線で着色してみよう。
- ③ 図のE-Bに沿って、Cの周辺、片品川の両岸、Dの周辺、それぞれの土地利用をあげてみよう。
- ④ Cは、この地形を利用した発電所である。何の力を利用してしているかを考えてみよう。

村落・都市 ワークシート 全10テーマ

**条里制**  
(奈良県天理市)

年 月 日 名前: \_\_\_\_\_

問題

資料

**条里制**  
(奈良県天理市)

写真で実際の立地を確認

作業

- ① 赤く塗られる
- ② 数字
- ③ 赤く塗られると考え
- ④ たぬき

写真: 第九条北方の集落を写した写真(2014年撮影)

**自然堤防上の集落**  
(茨城・千葉県境の利根川流域)

年 月 日 名前: \_\_\_\_\_

問題

資料

**自然堤防上の集落**  
(茨城・千葉県境の利根川流域)

1906年 (1907年発行) 1929年 (1929年発行) 1952年 (1952年発行) 1960年 (1960年発行)

作業

- ① 図中の□内にある利根川左岸の集落の形をさがし、水田が広がる上流の地形形状を調べよう。
- ② 利根川の流路と集落の一部が一致している。
- ③ 標高0mの等高線を赤で着色しよう。

旧版地形図で蛇行と土地利用を確認

# 新編 詳解地理 B 改訂版 教授資料

B5判 / 304 頁  
 定価：本体16,000 円 (税別)  
 指導用 DVD-ROM 付

## ■ 本書の構成

指導の要点	授業の指導案として「学習内容の要点」を各節ごとに掲載。時限ごとの詳しい授業実践例についてはDVD-ROMの「授業シート」を参照のこと。
本文解説	単なる用語解説に留めず、教科書に記述しきれなかった内容や教え方のヒント、注目すべき話題、新しい動きなど、授業進行に役立つ内容に。
図表写真解説	何をどのように読み取るか、どこに着目するかなどを具体的に解説。授業の導入や本文の充足のほか、発展的させるための資料などを提示。
地理的技能	基本的な事項や読図の応用まで着実に力がつくよう解答・解説を充実
プラスα	地理的な見方・考え方がさらに深められるようコラムを設定



## 付録 DVD-ROM の内容構成 授業をしっかりサポート

ディレクトリ名	内容	ファイル形式	内容解説	
地理B対応	syllabus	シラバス 評価規準と方法 参考文献集	Excel Excel Word	教科書のシラバス・評価規準案を収録。学校のカリキュラムにあわせて加工が可能。 本書の各単元の最終ページに掲載してある参考文献のリストを収録。
	lyugyo_sheet	授業シート	Word	実際の授業を想定した授業構成例について、授業1時限に対し1シートを収録。 <b>全140シート</b>
	textfile	本文テキスト	ブレンテキスト	教科書の本文・欄外のテキストデータを収録。指導資料や問題作成に有効。
	PDF	教科書 準拠版ワークブック 課題解決型シート	PDF	教科書と準拠版ワークブックの全ページの紙面PDFファイルを収録。 地理B学習の総仕上げとして「食料の安定的な確保」と「日本の農業の育成」を考察するワークシートを収録。「現状は」「要因は」「今後の展開は」「参画するには」の4ステップを通して自分の考えをまとめさせる。
	figure	教科書図版集	PNG画像	教科書掲載のおもな地図・グラフについて、 <b>カラー、モノクロ、文字なし</b> の3種類の画像を収録。文字なし画像は指導資料や問題作成に有効。 <b>カラー172図、モノクロ図175図、文字なし161図</b>
	exam	定期考査問題例	Word	教科書に準拠した定期考査の問題例を収録。授業内容に合わせ抜粋・修正可能。 <b>大問 地図11問、系統42問、地誌73問、A4判計159ページ</b>
	topomap	地形図読図ワーク	PDF	教科書掲載の地形図の読図や作業問題を収録。解答のシートには作業例や解説を、資料のシートには旧版地形図や土地利用図・写真・衛星写真などを使った発展解説を掲載。 <b>地形5テーマ、村落・都市10テーマ</b>
layer_map	レイヤー切替主題図	PDF	教科書掲載の主要な主題図を、凡例ごとに切り替えて表示することのできるPDF方式で収録。電子黒板などで、図中のメニューから必要な凡例を選択すると、そのレイヤーの塗りだけを表示することができる。 <b>全11図</b>	
地理A・地理B共通	Landform_PPTslide	地形スライド	PowerPoint	典型的な大地形や小地形の形成過程をパワーポイントファイルで収録。時系列の変化について、わかりやすい模式図を使った紙芝居形式で追うことができる。 <b>全14テーマ</b>
	IchimonIttou	一問一答	Word	教科書掲載の重要な地理用語について一問一答形式の設問を収録。授業進行に合わせ抜粋・修正が可能。 <b>地図・系統：778問、地誌：501問、A4判計70ページ</b>
	GISguide	地理屋のスキルノート 防災教育にGIS	PowerPoint	GISを使った大縮尺地図の作り方、パワーポイントでの資料作成方法を掲載。防災教育については教材編と、地域の防災へのGISの利用事例を紹介したフィールド編に分けて解説。
blankmap	白地図	JPEG画像	白地図の画像データを収録。 <b>世界5、大陸49、大州52、国52、日本5</b>	



教授資料付録 DVD-ROM

教科書紙面 PDF 準拠版ワークブック 紙面 PDF

全ページの紙面PDFファイルを収録。画像の解像度が高く、授業で電子黒板に写す際に、自由に紙面を拡大して、細かい要素まで読み取らせることができます。

**スマートシティグリッド** 従来の大型発電所からの送電だけでなく、自然エネルギーも活用し、住宅やオフィスなど小規模なネットワークのなかで効率よく電力を分配する環境づくりが進められている。

**電子黒板などで拡大して、写真や図の細かい部分まで示しながら、読み取らせることができます。**

**モード図を拡大して指導できます**



クローズアップ

電子黒板などで拡大して、写真や図の細かい部分まで示しながら、読み取らせることができます。

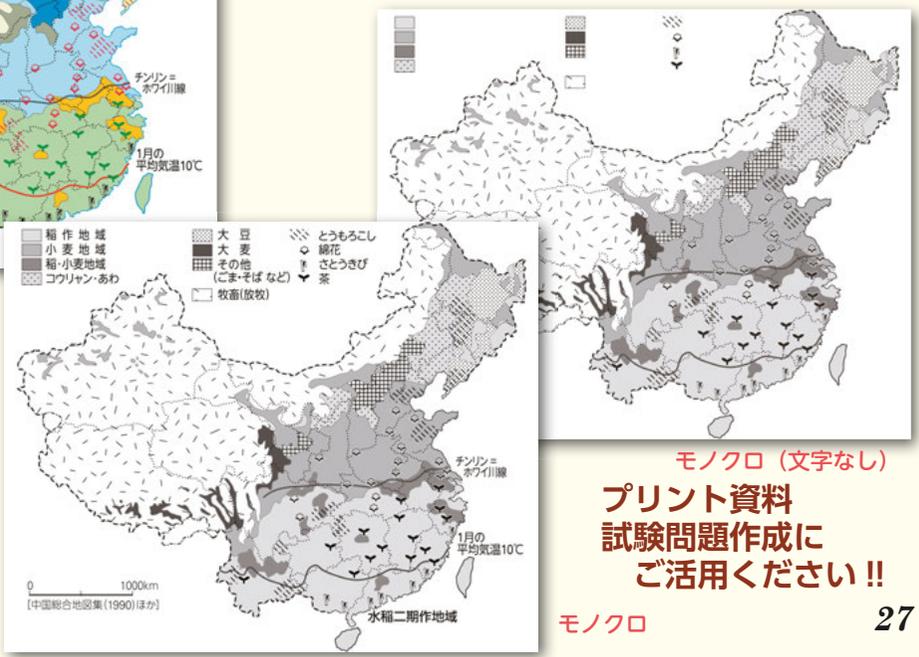
教科書に掲載したカラー画像だけでなく、モノクロ画像、モノクロ文字なし画像を収録。Wordなどに貼り付けて使うことができます。モノクロ画像は、色の塗り分けを判別しやすい白黒の濃淡、模様にししました。モノクロ文字なし画像はテスト問題作成に有効です。



カラー

170 図をこえる カラー、モノクロ、文字なしモノクロの図版画像を収録

ファイル名 B305F190-2-4C.png ページ番号 4C: カラー 1C: モノクロ 1CN: モノクロ 文字なし



モノクロ (文字なし)

プリント資料 試験問題作成に ご活用ください!!

モノクロ



電子黒板などで主題図を効果的に提示

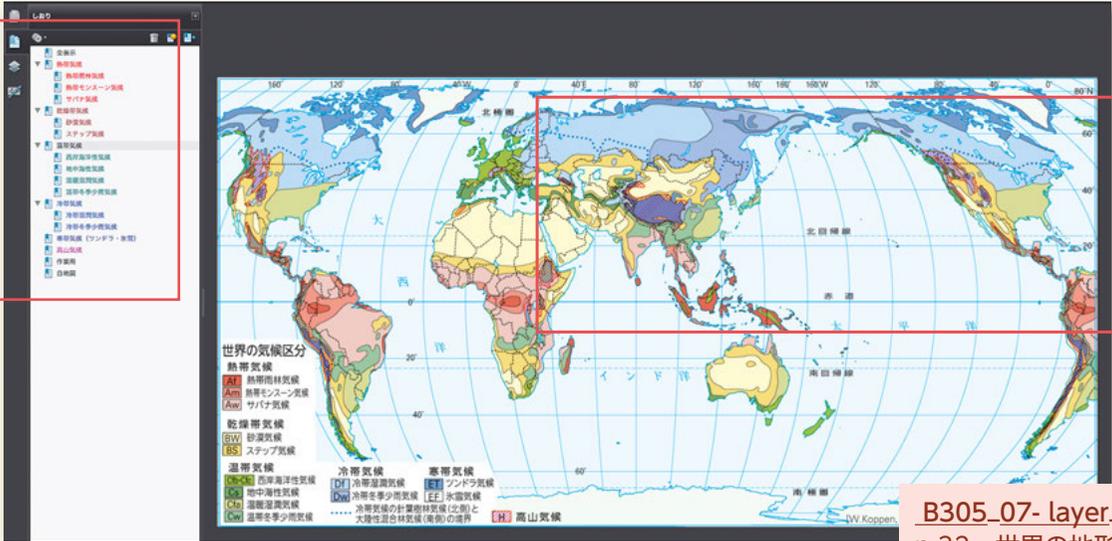
レイヤー切替主題図

教科書に掲載した代表的な主題図を、表示する要素を切り替えられるPDF形式で収録しました。教室の電子黒板などで、必要な凡例を選択して図の塗り分けを変えることや、白地図として提示することができます。

ケッペンの気候区分

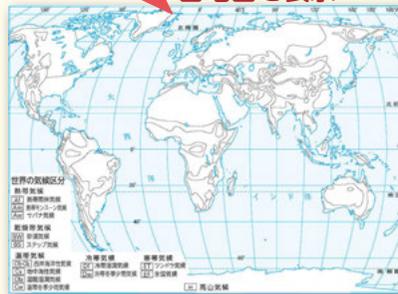
必要な要素だけを選択して表示させることが可能

範囲を指定して拡大表示が可能



温帯だけを表示

白地図を表示



B305\_07- layer\_map

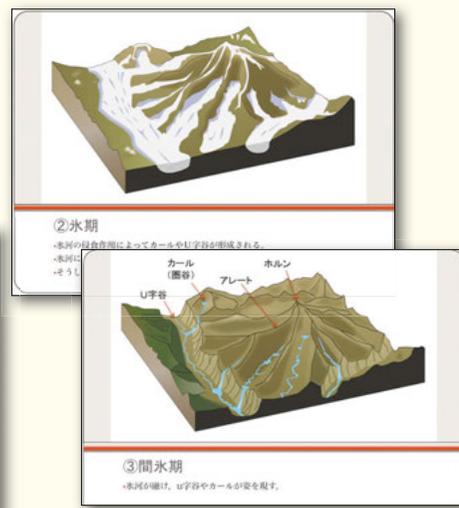
- p.32 世界の地形
- p.36 造山帯の分布
- p.64 ケッペンの気候区分
- p.89 農業区分
- p.105 燃料分布
- p.111 原料分布
- p.140 人口密度分布
- p.170 言語分布
- p.172 宗教分布
- p.179 国家群
- p.237 アフリカ独立年

地形スライド

代表的な地形について、時系列で変化が追えるよう、模式図をパワーポイントのスライドショー形式で収録しました。変化の経過をたどらせ、その形成要因について整理・考察させることができます。

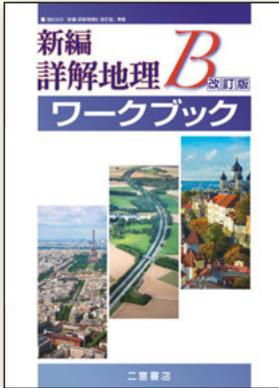
common\_landform\_PPTslide

- 大陸移動
- プレート境界の型
- 広がる境界の地形変化
- 自然堤防と後背湿地
- 河川の蛇行と三日月湖
- 河岸段丘
- 海食崖
- 海岸段丘
- 砂嘴・砂州・潟湖
- 氷河地形
- 環礁
- タワーカルスト
- アラル海の縮小
- 石狩川の蛇行



# 新編 詳解地理B改訂版 ワークブック

B5判 / 96 頁  
(別冊解答付)  
定価: 本体 560 円 (税別)



## 授業の予習・復習に、センター試験演習に

- ① 教科書に準拠し、全分野・全地域を扱ったワークブック。授業の整理だけではなく、**センター試験演習にも有効**。
- ② 内容整理(左頁)は、表形式の穴埋めで**地理用語を整理**。解答欄を活用して重要用語を繰り返し演習し、知識を定着。
- ③ 読図(右頁)は、教科書掲載の**図表を読み取り**ながら内容を把握。さらに統計・主題図の読図技能を養う。
- ④ 問題(右頁)は、教科書での学習を整理・発展させる**良問**を完備。

⑤頁 内容整理

▼ p.80-81

⑥頁 読図・問題・作業

80 第2章 現代世界の地理的考察

■ 第2章 現代世界の地理的考察 教科書 p.252-258

第7節 EU——地域の統合に目指す (2)

1 通川  
2 発電  
3 発電  
4 発電  
5 発電  
6 伝統的工業  
7 立地移動  
8 大都市周辺  
9 先進工業技術の発展  
10 読図  
11 読図  
12 読図  
13 読図

4 工業の変化  
石炭→発率の高い炭鉱の閉鎖。石油→〔 1 田〕→探査量の減少  
域内の安定供給のためエネルギー→市場形成  
発電方法の地域差→フランス〔 2 田〕、オランダ〔 3 田〕  
による火力発電。ノルウェー〔 4 田〕中心

5 言語と宗教からみた文化  
西ヨーロッパ 北〔 11 田〕、南〔 12 田〕  
東ヨーロッパ〔 13 田〕 例)ロシア語、ポーランド語  
西語 〔 14 田〕、ハンガリー語、フィンランド語など→民族高  
〔 15 田〕とスウェーデン語境界が国境を分断  
〔 16 田〕、フランス・スペインなど→国内に少数言語地域

6 都市と交通  
ロンドンからライン川流域、北イタリア〔 20 田〕を形成  
大都市内部の克服→再開発事業 例)ロンドンの〔 21 田〕  
1994年ドーヴァー海峡に〔 22 田〕開通→ロンドン・パリを直結  
高速鉄道網・高速道路の整備 例)フランスの〔 23 田〕など  
内陸水路発達→〔 24 田〕河口ロッテルダム港→世界最大級貨物取扱

7 EU統合と地域変化  
国境をこえる 1995年の〔 25 田〕→国境管理所廃止  
人と物の流れ ドイツやスイス→フランスからの〔 26 田〕を受け入れ  
観光客の流れ パリカンヌ制度→ドイツ→夏は〔 27 田〕やスペイン、冬は〔 28 田〕へ

8 EUの課題  
域内経済 西ヨーロッパと東ヨーロッパとの格差→最低賃金が10倍以上の差  
格差 東ヨーロッパへの工場移転、東ヨーロッパからの出稼ぎ  
対外の課題 域内企業や市場保護→〔 29 田〕→アメリカや日本との経済摩擦

解答欄を活用して重要用語をおさえる

81 第7節 EU 81

■ 問題1 ■ 教科書 p.118図2「ヨーロッパの主要鉄道の分布」と p.253図5「ヨーロッパの工業地域」をみて、次の図のA-Cの嵐山・嵐田の名称と、①-④の都市名を記入しなさい。

1995-2000年に製造  
先進技術産業地域  
製造技術集積地帯の形成地帯

嵐山・嵐田  
A 嵐田  
B 嵐田  
C 嵐田  
新しい工業都市  
①  
②  
③  
④

■ 問題2 ■ 教科書 p.254図1「ヨーロッパの言語」と図2「ヨーロッパの宗教」をみて、ヨーロッパの各国を言語と宗教によって分類した下の表の空欄①-⑥に該当する国名を国名群から選んで記入しなさい。

言語	インド=ヨーロッパ語族	その他		
宗教	ゲルマン語族	ロマンス語族	スラブ語族	その他
プロテスタント	スウェーデン、ノルウェー、イギリス、オランダ、ドイツ	①	②	③
キリスト教	カトリック	④	⑤	⑥
東方正教	⑦	⑧	⑨	⑩
イスラム教	⑪	⑫	⑬	⑭

国名群: ポーランド、フィンランド、ハンガリー、ベルギー、オーストリア、ルーマニア、アルバニア、スイス

■ 問題3 ■ 教科書 p.256図2「ヨーロッパの交通」をみて、下の文の空欄①-⑥に該当する語句を記入しなさい。

EU各国は鉄道や内陸航路、高速道路によって結びついている。ベルリン、パリ、ローマ、マドリードなどの各都市は、高速鉄道によって結ばれており、パリとロンドンには〔 ① トンネル〕をはしるユーロスターとよばれる列車に〔 ② 川〕やドナウ川などの多くは内陸航路として利用されている。それぞれの河川は、ルベ川と〔 ③ 田〕を結ぶ〔 ④ 田〕や〔 ⑤ 田〕の支流マイン川とドナウ川は、EU域内の航空網の整備も進んでいる。ロンドンやパリのほか、ドイツの〔 ⑥ 田〕やオランダの〔 ⑦ 田〕はハブ空港であり、EU域内・域外の移動を結びつける拠点となっている。

① トンネル ② 川 ③ 運河 ④ 運河  
⑤ 田 ⑥ 田

### 統計資料・問題集 大学受験への対応

2019 データブック オブ・ザ・ワールド 2019年版 Vol.31

A5判・496頁  
定価: 本体 680 円 (税別)

地理統計要覧 2019年版 Vol.59

A5判・160頁  
定価: 本体 400 円 (税別)

完全マスター 地理B問題集 改訂版

B5判・136頁 (別冊解答 64頁付)  
定価: 本体 800 円 (税別)

基本白地図 最新版

B5判・56頁 (別冊解答付)  
定価: 本体 400 円 (税別)



### 詳解現代地図

130 二宮 地図311

平成 28 年 検定済  
AB 判・174 頁

ワイドな紙面，最新の主題図が  
詳しく充実した地図帳。



### 高等地図帳 改訂版

130 二宮 地図314

平成 29 年 検定済  
B5 判・158 頁

広域図から拡大図まで，数多くの  
一般図を収録，伝統の地図帳。



### 基本地図帳 改訂版

130 二宮 地図312

平成 28 年 検定済  
A4 判・150 頁

大きな紙面で国旗や写真も豊富，  
楽しく学べる地図帳。

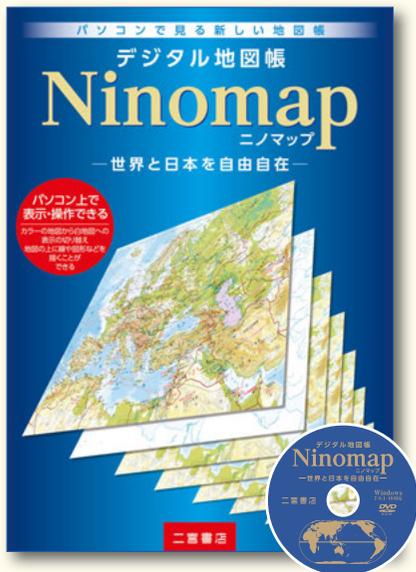


### 新コンパクト地図帳 改訂版

130 二宮 地図315

平成 29 年 検定済  
A5 判・230 頁

世界全ての独立国の概要を収録。  
携帯できる地図帳の決定版。



## デジタル地図帳 Ninomap (ニノマップ)



### パソコンで見る地図帳，好評発売中。

『デジタル地図帳 Ninomap』(ニノマップ)は，二宮の地図帳に掲載している世界地図，日本地図，日本の都市図を，国名や河川などレイヤーを切り替えながら表示することができるデジタル地図帳 DVD-ROM です。

**世界地図・日本地図・日本の都市図，計 34 図を収録！**  
☆サンプル版を弊社ウェブサイトで公開中☆

DVD-ROM1枚 / 定価：本体 **3,700** 円 (税別)

【動作環境】OS：Windows 7/8.1/10，メモリ：4GB 以上  
ハードディスク：4GB 以上の空き容量，DVD ドライブ必須

### 二宮書店版 デジタル地図

(地図帳の教授資料として発売)



DVD-ROM1 枚

シングルライセンス版  
定価：本体  
**3,700** 円 (税別)

教師用  
フリーライセンス版  
定価：本体  
**15,000** 円 (税別)

(内容は、「デジタル地図 Ninomap」と同一のものです。)

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校の地理教育で扱うべき内容がわかりやすく解説され、現代世界の特徴や課題、最近の事情が具体的な事例とともに示されているため、生徒が自ら読んで理解できる教科書になっている。</li> <li>・系統項目では全分野が幅広く掲載されているほか、地誌事例では世界全域が扱われており、日本の内容も随所で解説されているため、質・量ともに十分な内容の教科書といえる。</li> </ul>
構成・分量	<ul style="list-style-type: none"> <li>・B5判誌面に写真や図版、欄外にはコラムや用語解説を豊富に設け、より発展的な授業がおこなえるような資料性の高い教科書になっている。</li> <li>・I編で習得した主題図や地形図などの基本的な読図技能を、II編の系統地理やIII編の地誌で段階的に定着できるようになっており、学習の流れを構築しやすい構成になっている。</li> </ul>
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現況や推移、概念などを適格に表現する図表(680点)や地理写真(420点)が本文を充足するため、学習内容がより理解しやすい。</li> <li>・重要な地理用語を太字でおさえたうえ、重要な用語には欄外で解説や補足説明を設けているほか、本文に付された参照ページにより関連箇所が参照しやすく、理解しやすい。</li> </ul>
選定理由	<p>系統地理的分野、地誌ともに内容が充実しており、世界を多角的・多面的に考察することができる。また、資料性の高い図表・写真やコラムを活用することにより、本文の流れにそって地理的知識を着実に学習することができる。世界の多様性を認識し、生徒自ら考える力を身につけられる適切な教科書と考える。</p>

「シラバス」「選定ポイント」「評価の規準と方法」(例)のExcel形式のデータは、弊社のウェブサイトよりダウンロードできます。

新編 詳解地理B 改訂版  
著者

筑波大学名誉教授  
筑波大学名誉教授  
筑波大学名誉教授  
筑波大学准教授  
立正大学名誉教授  
成蹊大学教授  
岐阜聖徳学園大学

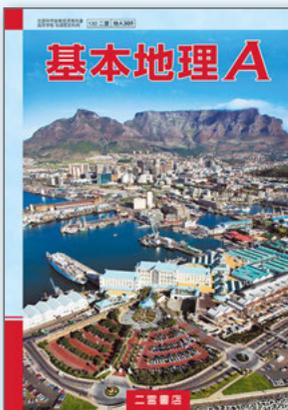
山本 正三  
石井 英也  
手塚 章  
池田 敦  
内山 幸久  
小田 宏信  
柏木 良明

首都大学東京教授  
お茶の水女子大学附属高等学校副校長  
筑波大学教授  
筑波大学教授  
首都大学東京教授  
長野県立中野西高等学校校長  
日本大学教授

菊地 俊夫  
菊池 美千世  
呉羽 正昭  
中西 僚太郎  
松山 洋  
宮原 弘匡  
山川 修治

2020年度は新刊教科書を刊行いたしませんので、本年度は教科書見本をお送りいたしておりません。教科書調査研究のための既刊本の送付は、採択権者から各都道府県教育委員会もしくは教科書協会へのご依頼により、一部を上限として可能です。ただし、文部科学省が定めた条件にそくわない等によりご依頼に応じることができないこともございます。お問い合わせは、各都道府県教育委員会までお願いします。

高等学校学習指導要領準拠 2020年度用 地理A教科書



# 基本地理 A

130 二宮 | 地A 309

B5判 / 206 ページ  
図表 294 点 / 写真 394 点

## 『教えやすく、学びやすい』地理A教科書の決定版!

- ① 統一した流れで学びやすい地誌
- ② ビジュアルに見せる系統地理
- ③ 新しい動向に迫る地球的課題
- ④ バリエティに富んだ地図学習
- ⑤ 体系的に理解できる防災学習

準拠教材：  
基本地理 A  
ワークブック

定価：本体  
530 円 (税別)

